

## ASLE-J書誌情報リスト

### 和文の書誌

#### 1. 著書(1)単著

伊藤詔子	『よみがえるソロー―ネイチャーライティングと19世紀アメリカ社会』	柏書房、1998年。
茅野佳子	『雪のサンタフェ(Santa Fe in Snow)』	新風社、2006年。
喜納育江	『<故郷>のトポロジー―場所と居場所の環境文学論(エコクリティシズム・コレクション)』	水声社、2011年。
塩田弘	『ゲーリー・スナイダーのバイオリージョナリズム―「ノーネイチャー」と「終わりなき山河」』	雄松堂書店(日本博士論文登録機構・広島大学)、2003年。
瀬川久志	『三日月幻想曲』	グッドタイム出版、2013年。
瀬川久志	『超弦空間の旅人　失われた20年の謎にせまる』	Parade books、2016年。
瀬川久志	『母』	ブイツーンソリューション、2016年。
多田満	『レイチェル・カーソンに学ぶ環境問題』	東京大学出版会、2011年。
多田満	『センス・オブ・ワンダーへのまなざし――レイチェル・カーソンの感性』	東京大学出版会、2014年。
多田満	『レイチェル・カーソンはこう考えた』	筑摩書房(ちくまプリマー新書)、2015年。
塚本正司	『私たちは本当に自然が好きか』	鹿島出版会、2007年。
塚本正司	『主張する植物』	八坂書房、2009年。
中川僚子	『日常の相貌――イギリス小説を読む』	水声社、2011年。
芳賀浩一	『ポスト<3.11>小説論――遅い暴力に抗する人新世の思想』	水声社、2018年。
藤江啓子	『空間と時間のなかのメルヴィル――ポストコロニアルな視座から解明する彼の地球(惑星のヴィジョン)』	晃洋書房、2012年。
結城正美	『水の音の記憶――エコクリティシズムの試み』	水声社、2010年。
結城正美	『他火のほうへ―食と文学のインターフェイス』	水声社、2012年。
吉田美津	『「場所」のアジア系アメリカ文学――太平洋を往還する想像力』	晃洋書房、2017年。

### 著書(2)共著・共編著

<b>編著者名</b>	<b>書名</b>	<b>詳細</b>
秋元英一、小塩和人編	『豊かさと環境』(シリーズ・アメリカ研究の越境第3巻)	ミネルヴァ書房、2006年。
ASLE-Japan/文学・環境学会	『ASLE日韓合同シンポジウム予稿集』	ASLE-Japan/文学・環境学会、2004年。
ASLE-Japan/文学・環境学会	『たのしく読めるネイチャーライティング』	ミネルヴァ書房、2000年。
池田智監修、今井夏彦、岩政伸治、大野美砂、河内山康子、斎藤忠志、中村文紀	『アメリカ史基本用語辞典』	アルク、2001年。

石幡直樹、佐々木郁子、結城正美他□	『ロマンティック・エコロジーをめぐる』	
生田省悟、村上清敏、結城正美	『「場所」の詩学―環境文学とは何か』	英宝社、2006年。
伊藤詔子、吉田美津、横田由理編	『新しい風景のアメリカ―New Ecocriticism』	藤原書店、2008年。 <span>南雲堂、2003年。</span>
伊藤詔子監修、横田由理、浅井千晶、城戸光世、松永京子、真野剛、水野敦子編	『オルタナティブ・ヴォイスを聴く―エスニシティとジェンダーで読む現代英語環境文学103選』	音羽書房鶴見書店、2011年。

岩政伸治責任編集、アーサー・ピナード、内田均、宮沢賢治、岡田大輔、今井福司、宮澤賢治、日置貴之、ジェイムス・ドイッチュ、井辻朱美、堀井清之、アン・マクナイト	『環境文学の地平』	弘学社、2017年。
--	-----------	------------

尾関周二、亀山純生、武田一博、穴見慎一 編著	『〈農〉と共生の思想―〈農〉の復権の哲学的探究―』	農林統計出版、2011年。
------------------------	---------------------------	---------------

小谷一明、巴山岳人、結城正美、豊里真弓、喜納育江編著	『文学から環境を考える―エコクリティシズムガイドブック』	勉誠出版、2014年。
上岡克己、上遠恵子、原強編著	『レイチェル・カーソン』(もっと知りたい名作の世界)	ミネルヴァ書房、2007年。
上岡克己、高橋 勳編著	『ウォールデン』(もっと知りたい名作の世界)	ミネルヴァ書房、2006年。
木下卓、窪田憲子、高田賢一、野田研一、久守和子	『英語文学事典』	ミネルヴァ書房、2007年。
小林章夫、岩政伸治	『The Sense of Wonder』	郁文堂、1998年。
杉野健太郎、稲垣伸一、諏訪部浩一、西山隆行、山口和彦、下楠昌哉、荒川裕子、飯岡詩朗、大野美砂、倉科一希、館健太郎、立入正之、中田崇、ジョゼフ・ラウアー	『アメリカ文化入門』	

スコット・スロヴィック、伊藤詔子、吉田美津、横田由理	『エコトピアと環境正義の文学―日米より展望する広島からユッカマウンテンへ―』	晃洋書房、2008年。
----------------------------	--	-------------

日本環境毒性学会	『生態影響試験ハンドブック――化学物質の環境リスク評価』	朝倉書店、2003年。
日本陸水学会	『陸水の事典』	講談社、2006年。
日本ソロー学会編	『新たな夜明け―「ウォールデン」出版150年記念論集』	金星堂、2004年。
野田研一、結城正美	『越境するトポス―環境文学論序説』	彩流社、2004年。
野田研一、山本洋平、森田系太郎編	『環境人文学Ⅰ　文化のなかの自然』	勉誠出版、2017年。
野田研一、山本洋平、森田系太郎編	『環境人文学Ⅱ　他者としての自然』	勉誠出版、2017年。
広島大学総合科学部編	『21世紀の教養―科学技術と環境』	培風館、1999年。
松本昇、横田由理、稲木妙子	『木と水と空と―エスニックの地平から』	金星堂、2007年。
山里勝己、高田賢一、野田研一、高橋勳、スコット・スロヴィック編	『国際シンポジウム沖繩 2003:自然と文学のダイアローグ―都市・田園・野生』	彩流社、2007年。

渡邊泉・久野勝治	『環境毒性学』	朝倉書店、2011年。
----------	---------	-------------

## 2. 論文

### (1)雑誌に掲載

著者名	論文名
浅井千晶	「クリスティーナ・ロセッティの詩における自然描写の意義」
浅井千晶	「湖水地方とナショナル・トラスト(1)」
浅井千晶	「カーソンと海を愛した詩人たち」
浅井千晶	「 <i>Beloved</i> における飢餓と渴望」
浅井千晶	「湖水地方とナショナル・トラスト(2)」
浅井千晶	「湖水地方のナチュラリストBeatrix Potterの小さな本」
伊藤詔子	『『種の起源』と「種子の拡散」ーダーウィンとソロー」
伊藤詔子	「アメリカン・イーグルの消滅と遍在」
伊藤詔子	「現代のソロー、アニーディラード『ティンカークークの巡礼』」
伊藤詔子	「アメリカンネイチャーライティングーコミュニティ・エッジ・エビフアニー」
伊藤詔子	「ハドソンリバー派とソローのウィルダネスの詩学」
伊藤詔子	「ネイチャーライティングとは何かー自然と文学」
伊藤詔子	「ソロー、内なる荒野への巡礼」
伊藤詔子	「環境教育ー日米の大学の環境文学教育制度の比較について」
伊藤詔子	「進化する名著ー新たなるウィルダネスのシナリオ」
伊藤詔子	「女性たちの『ウォールデン』ーウォールデン(ルビGod’s Drop)から苦い(Bitter)湖(Lake)へ」
伊藤詔子	「ウォールデン150年特集を2誌に見る」
伊藤詔子	「ビュエルと環境批評の未来ーエコクリティシズム3部作完成に寄せて」
伊藤詔子	「ソローのカウンター・カルチャー性とマイノリティ」
伊藤詔子	「Silent Springー“Toxic Inferno”を下って沈黙のジェンダーのルーツを探る」
伊藤詔子	「現代女性環境作家と第2波エコクリティシズム」
伊藤詔子	「Susanne Antonetta, Body Toxic: An Environmental Memoir」
伊藤詔子	「エコクリティシズムから読むアメリカ文学のジェンダーと人種」
岩政伸治	「“A” Stands for “Awake”」
岩政伸治	「Gary Snyderのみた宮沢賢治の自然」
岩政伸治	「An American Anarchist」
岩政伸治	「Civil Disobedienceとは何か」
岩政伸治	「「孤独」にみられる自己の二面性について」
岩政伸治	「Snyderにみる宮沢賢治の修辞学」
岩政伸治	「「孤独」の構造分析と帰納法の実践」
岩政伸治	「“Solitude” Speaks the Nature of <i>Walden</i> 」
岩政伸治	「都会の自然をめぐる考察 What is “urban nature”？」
岩政伸治	「Urban Nature Shapes Modern Identities」
岩政伸治	「ソローと賢治の「時間」の意識」
岩政伸治	「TV, or not TV: Urban Environment creates gaps of communication」
岩政伸治	「9.11後の新しいパラダイムを求めてーテリー・テンペスト・ウィリアムスの9.11受容」
岩政伸治	「「エレミヤの嘆き」と救いのバストラルーレイチェル・カーソンの『失われた森』における生態系回復のレトリック」
岩政伸治	「「無の場所」から読み解くスナイダーの詩学」
岩政伸治	「レイチェル・カーソンの作品に見る場所の力学」
大野美砂	「異種混交の庭が表象するものーラバチャーニの庭とホーソーンの人種意識ー」
大野美砂	「Aylmerのホワイトネス構築ー痣と真の女性」

#### 詳細

『人間文化研究科年報』第5号(1990年)107-116ページ。
『千里金蘭大学紀要』生活科学部・人間社会学部第1号(2004年)27-30ページ。
『千里金蘭大学紀要』生活科学部・人間社会学部第2号(2005年)31-40ページ。
『奈良女子大学英語学英米文学論集』第32号(2006年) 1-11ページ。
『千里金蘭大学紀要』生活科学部・人間社会学部第3号(2006年)1-3ページ。
『子ども学研究』第1号(2009年)125-137ページ。

『英語青年』(1990年8月号)1-5ページ。
『英語青年』(1992年5月号)1-5ページ。
特集ネイチャーライティング『英語青年』(1995年2月号)14ページ。
『ユリイカ』(1996年2月号)213-219ページ。
『英語青年』(1998年6月号)5-8ページ。
『21世紀の教養--科学と環境』第1部 3章(培風館、1999年)
『世界の文学7南北アメリカ』(朝日新聞社、2000年)91-93ページ。
『文学と環境』第3号(2000年)5-13ページ。
『英語青年』(2002年6月号)38-39ページ。
『英語青年』(2004年8月『ウォールデン』出版150年特集号)1-5ページ。
『ヘンリー・ソロー研究』31(2006年)66-79ページ。
『英語青年』(2006年11月号)50-51ページ。
(シンポジウム報告)『中四国アメリカ文学研究』(2006年)50-53ページ。
『アメリカ研究』41(2007年)19-36ページ。
『英詩評論』24(2008年)2-14ページ。
『エコクリティシズム・レビュー』No2(2009年)57-62ページ。
『言語文化研究』松山大学28:2(2009年)79-105ページ。

*Soundings* 第20号(1994年)65-80ページ。
*Soundings* 第21号(1995年)159-174ページ。
*Soundings* 第23号(1997年)129-153ページ。
『富士論叢』第43巻2号(1998年)173-187ページ。
『富士論叢』第44巻2号(1999年)151-164ページ。
『桐朋学園大学研究紀要』第25集(1999年)63-74ページ。
『湘南工科大学紀要』34巻(2000年)151-163ページ。
『富士論叢』第45巻1号(2000年)69-96ページ。
『文学と環境』第5号(2002年)12-18 ページ。
『白百合女子大学研究紀要』第39号(2003年)93-102ページ。
『ヘンリー・ソロー研究論集』第30号(2004年)44-57ページ。
『白百合女子大学研究紀要』第40号(2004年)37-48ページ。
『言語・文学研究論集』6号(2006年)61-70ページ。

『白百合女子大学キリスト教文化研究論集』8号(2007年)35-55ページ。

『文学と環境』11号(2008年)31-38ページ。
『エコクリティシズム・レビュー』3号(2010年)58-63ページ。

『千葉商大紀要』第41巻3号(2003年)143-154ページ。
*Soundings* 第34号(2008年)131-143ページ。

小谷一明	『都市とパストラルーパストラル概念の再考と「環境の感覚」』	『文学と環境』第8号(2005年)61-64ページ。
小谷一明	「「米国西部」の再イメージ化ーマイク・デイヴィスとレベッカ・ソルニットによる風景批評を読む」	『県立新潟女子短期大学研究紀要』第45集(2008年)185-190ページ。
茅野佳子	「場所・人間・文学ーアメリカ南西部の物語と環境公正運動」	『接続』第5号(2005年)34ー80ページ。
茅野佳子	「リチャード・ライトの生命讃歌と環境批評ー『12,00万人の黒人の声』が語る人 と環境」	『明星大学人文学部研究紀要』第42号(2006年)19ー32ページ。
茅野佳子	「大国の内なるマルチチユードーニューメキシコ州アルバカーキからの報告」	『接続』第7号(2007年)28ー61ページ。
茅野佳子	「プエブロの踊りー同化政策を生き抜いて」	『接続』第8号(2008年)74ー101ペー ージ。
茅野佳子	「イランカラブテ〜アイヌ民族の心に触れてー第2回MUISA大会における文化イベント報告を含む論考ー」	『明星コミュニケーション研究』第2号(2010年)13ー33ページ。
茅野佳子	「『環境文学』からのメッセージ〜記憶、想像、語りの力」	『接続』第9号(2011年)72ー94ページ。
茅野佳子	「水と命の物語〜レスリー・マーモン・シルコーの『雨雲を届ける人』(翻訳を含む研究)」	『明星大学研究紀要・教育学部』第4号(2014年)73ー94ページ。
河野千絵	「『セルボーンの博物誌』について」	『えちゅーど』第27号(1997年)25-40ページ。
河野千絵	「ロバート・リンドについて」	『女子聖学院短期大学英文学会会誌』第30号(1998年)45-62ページ。
河野千絵	「自然を書くということ: <i>Pilgrim at Tinker Creek</i> 一考」	『えちゅーど』第30号(2000年)15-31ページ。
河野千絵	「マーガレット・フォンテンの自転車」	『えちゅーど』第32号(2002年)13-24ページ。
河野千絵	「「自然との一体化」ということ ーメアリー・オリバーの詩が伝えるもの」	『文学と環境』第14号(2011年)17-25ページ。
河野千絵	「水を飲むということ: 短歌における「水を飲む」行為についての一考察」	『文学と環境』第16号(2013年)45-53ページ。
塩田弘	「自我と川の関係: エドワード・アビー、ゲーリー・スナイダーのネイチャーライティング」	『文学と環境』第2号(1999年)3-10ページ。
塩田弘	「『波について』における愛とエネルギーの力学」	『欧米文化研究』第6号(1999年)139-150ページ。
塩田弘	「「禿鷲”Vulture”の復権ーG. Snyderの描く生態と神話ー」	『欧米文化研究』第7号(2000年)153-163ページ。
塩田弘	「風景の遠近法: ThoreauのWaldenからSnyderの“Endless Streams andMountains”への風景描写の展開」	『九州英文学』第19号(2002年)69-82ページ。
塩田弘	「野生の果実ハックルベリーを巡ってーソローとトウェインとスナイダー」	『言語文化研究』第11号(2003年)19-36ページ。
塩田弘	「ソローの風景描写の展開ーソローとその同時代版画家バーバーのコード岬」	『ヘンリー・ソロー研究論集』第29号(2003年)1-10ページ。
塩田弘	「ゲーリー・スナイダーとバイオリージョナリズム」	『Circles』第6号(2003年)38-47 ページ。
塩田弘	「『ノー・ネイチャー』の禅とポストモダニズムーゲーリー・スナイダー選詩集に表現された自然観」	『言語文化研究』第12号(2004)1-15ページ。
塩田弘	「Walden結句の多文化と現代」	『中・四国アメリカ文学研究』第42号(2006) 43-46ページ。
塩田弘	「Ecology of Everyday lifeの思想と音楽」	『エコクリティシズム・レヴュー』第1号(2008)36-40ページ
高橋龍夫	「ジャポニズムにおけるゴッホと芥川龍之介ーエコ・クリティシズムを視座に」	『芥川龍之介研究年誌』第3号(2009年)72-78ページ。
多田満	「化学物質の生態影響」	『日本生態学会誌』第48巻(1998年) 299-304ページ。
多田満	「R.Carson『沈黙の春』と有吉佐和子『複合汚染』にみられる化学物質の生態への影響」	『文学と環境』第9号(2006年) 47ー53ページ。
多田満	「環境芸術について(1) 環境ー科学ー芸術のつながり」	『環境芸術』第9号(2010年) C56493-96ページ。
多田満	「R.カーソン『沈黙の春』を通してリスク社会を考える」	『日本リスク研究学会誌』第24巻第3号(2014年) 185-191ページ。
田中都	「黒人エコロジカル・アイデンティティと食べ物」	『かりん かりんー女性学・ジェンダー研究』第13号 (2015年) 59-71ページ。
豊里真弓	「多文化主義とエコクリティシズムーラウンドテーブル『エコクリティシズム再考』」	『文学と環境』第8号(2005年) 48ー51ページ。
豊里真弓	「非近代への志向ー梨木香歩『植物園の巣穴』における身体性と異界」	『水声通信』第6巻1号(2010年)215ー220ページ。
内藤貴子	「川の少年とは誰か?ー『 <i>River Boy</i> 』における“figment”と自然表象」	日本イギリス児童文学学会編『Tinker Bell』57号(2012年)71-84ページ。
内藤貴子	「デイヴィッド・アーモンド『ヘヴンアイズ』におけるvisionの変容と自然表象」	日本イギリス児童文学学会『Tinker Bell 英語圏児童文学研究』58号(2013年)99-112ページ。
内藤貴子	「子どものヴィジョンと大人の近眼性: <i>The River at Green Knowe</i> に描かれた自然と人間の関係性についての一考察」	『明海大学外国語学部論集』第30集 (2018年) 67ー81ページ。
中川直子	「風景のパリンプセスト: アンニー・ディラードの回想記を中心に」	『異文化コミュニケーション論集』第11号(立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科、2013年)43ー51ページ。
マーク・バドソン、青山真美、カーラ・フーヴァー、川島高宗、内山純蔵	「現在の地球気候変動と考古学的研究ー社会生態システムのレジリエンスを高めるための考古学的戦略の構築ー」	『第四紀研究』51(4) (2012年) 267-274 ページ。

松永京子	「カルチャーとビジネスの狭間で―デイヴィッド・マス・マスマトとルース・L・オゼキの作品を中心に」	『アメリカ研究』第41号(2007年)113-31ページ。
松永京子	「黒い雨は平等にふりかかるか? ―環境正義で読む北米先住民文学と日本原爆文学」	『文学と環境』第10号(2007年)5-13ページ。
松永京子	「チカーナ文学にみる環境アクティヴィズムの言説 ― ヴィラモンテス、モラガ、カスティヨの作品を中心に」	『文学と環境』第11号(2008年)21-30ページ。
松永京子	「抵抗するチカーナ文学 ― Ana Castillo のSo Far from God におけるマジックリアリズムとエコアクティヴィズムの言説」	『アメリカ・エスニック文学研究』第4号(2008年)50-70ページ。
松永京子	「長い時間をかけた作家の経験 ―「汚染の言説」としてよむ「原爆文学」」	『原爆文学研究』第7号(2008年)57-72ページ。
松永京子	「引き継がれる自伝、教材としての成長物語―アン・ムーディの『カミング・オヴ・エイジ・イン・ミシシッピ』」	『マーク・トウェイン 研究と批評』11号(2012年)31-40ページ。
松永京子	「核をめぐるアメリカ南西部の文学―サイモン・J・オーティーズの詩を中心に」	『原爆文学研究』11号(2012年)117-130ページ。
松永京子	「原子と科学が出会うところ―マリルー・アウィクタと原子のナラティブ」	『原爆文学研究』12号(2013年)122-135ページ。
三宅由夏	「『自伝的』まなざしの交わる場所―『川底に』試論」	『れにくさ』（東京大学現代文芸論研究室紀要）第5号 第3巻（2014年）129-47ページ。
三宅由夏	「距離に触れる『顔』―レベッカ・ブラウン『かつらの合っていない女』を読む」	『現代詩手帖』11月号（2017年）30-35ページ。
村上清敏	「影響の不安を脱して:デイヴィッド・ゲスナーのこと」	『水声通信』第33号(2010年)205―214ページ。
森田系太郎	「韓国環境詩人・崔勝鎬による近代への挑戦―ジェンダー・セクシュアリティを主題として」	『文学と環境』(ASLE-Japan／文学・環境学会)第10号(2007年)41-44ページ。
森田系太郎	「環境にやさしい態度を身につけるには?:『環境的自省性』という提案」	『インターカルチュラル』(日本国際文化学会)第6号(2008年)95-110ページ。
森田系太郎	「〈クィア〉な人新世に向けて」	『文学と環境』(ASLE-Japan／文学・環境学会)第21号(2018年)8-10ページ。
山田悠介	「日本古典文学研究における『交感』の概念」	『異文化コミュニケーション論集』(立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科)第7号(2009年)173―180ページ。
山本洋平	「逍遙するということ―環境文学におけるリチャード・ネルソンの位置」	『立教レヴュー』第34号(2005年)15-28ページ。
山本洋平	「メキシコ戦争と『メインの森』―ソローの〈市民的不服従〉の背景について」	『英米文学』(立教大学文学部英米文学科)第65号(2005年)103-22ページ。
山本洋平	「〈必然〉が産みだす文体―ソロー、ディラード、動物遭遇譚」	『文学と環境』(第9号(2006年)13-20ページ。
山本洋平	「韓国環境文学をめぐる―抵抗詩人から環境詩人へ 金芝河を読む」	『文学と環境』第10号(2007年)33-37ページ。
山本洋平	「 <i>A Week on the Concord and Merrimack Rivers</i> における散文的詩と詩的散文」	『ヘンリー・ソロー研究論集』第33号(2007年)11-20ページ。
山本洋平	「“Put all America behind him”― <i>Cape Cod</i> における風景と所有をめぐる」	『ヘンリー・ソロー研究論集』第36号(2010年)11-20ページ。
山本洋平	「生物多様性の文学へ―加藤幸子「ジーンとともに」論」	『水声通信 特集エコクリティシズム』第33号(2010年)221-227ページ。
山本洋平	「国土と詩論のフロンティア―エマソン“Self-Reliance”から“Experience”への展開」	『戸板女子短期大学研究年報』第54号(2012年)41-49ページ。
結城正美他	「エコクリティシズム再考」	『文学と環境』8（2005）: 45-68ページ。
結城正美	「水の音の記憶―田口ランディ『ひかりのあめふるしま屋久島』におけるサウンドスケープ」	『文学と環境』第9号(ASLE-Japan／文学・環境学会, 2006): 21-28ページ。
結城正美	「風景のおとづれ―交感とサウンドスケープ」	『水声通信』第4巻3号(2008年):94-100ページ。
結城正美	「環境文学にみる国立公園」	『国立公園』2009年11月号(特集:自然公園と芸術、国立公園協会)17-20ページ。
吉田美津	「環境批評とエスニシティ―アジア系アメリカ文学研究と『パストラル』の変容」	『AALA Journal』(アジア系アメリカ文学研究会)第14号(2008年)37-49ページ。

## (2)本に掲載

著者名	論文名
浅井千晶	「理想郷の探求——トニ・モリスンの『パラダイス』」
浅井千晶	「クック家の悲劇——生産神話の崩壊」
浅井千晶	「レイチェル・カーソンと海の文学——文学と科学の結晶」
浅井千晶	『『パラダイス』とエコロジー的トポスの構築』
アレン、ブルース	「ウィリアム・バートラム:大自然を旅する」
アレン、ブルース	「ジョン・パロуз:身近な自然の讃美」
アレン、ブルース	「ジョン・ヘイ:目覚めへの旅」
アレン、ブルース	「石牟礼道子『天湖』にみる多次元的世界」
アレン、ブルース	『『天湖』の出会い』
伊藤詔子	「ソロー、ヘミングウェイ、T.T.ウィリアムス」
伊藤詔子	「アメリカン・ネイチャーライティングの起源を求めて」
伊藤詔子	「緑の文学批評—エコクリティシズムとは何か」
伊藤詔子	「ソローのウィルダネスの詩学とビューリタニズム」
伊藤詔子	「野生果実の喪失と復活」
伊藤詔子	「地図と反地図—測量技師ソローと沼地のポリティックス」
伊藤詔子	「テリトリイからプレイスへ—『ウォールデン』と『境界の失われた土地の物語』」
伊藤詔子	「ウォールデン地誌から土地倫理と環境正義の文学まで」
伊藤詔子	「ネイチャーライティングと環境文学—身体としての自然、その隠れた意味の解明をめぐって」
伊藤詔子	「世界の書物『ウォールデン』」、「作品論『ウォールデン——森の生活』」
伊藤詔子	「喪失とレジスタンスの語りの空間—ソローとリンダ・ホーガンも生きもる表象をめぐって」
伊藤詔子	「ハンフォードを語り継ぐ女性環境文学について」
伊藤詔子	「汚染の身体とアメリカ」
岩政伸治	「アメリカン・ドリームの末裔」
岩政伸治	『『失われた森』:解毒の文学』
岩政伸治	『『X-ファイル』の環境とテロにみる恐怖の構図』
岩政伸治	「生きる証—『ものけ姫』にみる環境的公正」
岩政伸治	「惑星的危機意識というプロパガンダ:オバマの時代の環境とエネルギー」
岩政伸治	「アメリカにおける修辭的戦略としての悪の系譜」

## 詳細

大井浩二監修『スモールタウン・アメリカ』英宝社、2003年、254-279ページ。
鈴木晃仁、石塚久郎編著『身体医文化論IV 食餌の技法』慶應義塾大学出版会、2005年、319-335ページ。
上岡克己、上遠恵子、原強編著『レイチェル・カーソン』ミネルヴァ書房、2007年、49-61ページ。
スコット・スロヴィック、伊藤詔子、吉田美津、横田由理編著『エコトピアと環境正義の文学——日米より展望する 広島からユッカマウンテンへ』晃洋書房、2008年、265-278ページ。

文学・環境学会編『たのしく読めるネイチャーライティング』ミネルヴァ書房、2000年、12-13ページ。
文学・環境学会編『たのしく読めるネイチャーライティング』ミネルヴァ書房、2000年、38-39ページ。
文学・環境学会編『たのしく読めるネイチャーライティング』ミネルヴァ書房、2000年、100-101ページ。
『越境するトポス—環境文学論序説』彩流社、2004年、273-290ページ。
『花を奉る—石牟礼道子の時空』藤原書店、2013年、499-503ページ。

今村橋夫編著『ヘミングウェイとアメリカ作家』ミネルヴァ書房、2006年、145-161ページ。
伊藤詔子、スコット・スロヴィック、野田研一編著『アメリカ文学の(自然)を読む—ネイチャーライティングの世界へ』ミネルヴァ書房、1997年、35-51ページ。
ハロルド・フロム他著、伊藤詔子他訳『緑の文学批評—エコクリティシズム』松柏社、1998、1-16ページ。
秋山健監修、宮脇俊文、高野一良編著『アメリカの嘆き』南雲堂、1999年、183-209ページ。
国重純二編『アメリカ文学ミレニアムI』南雲堂、2001年、268-290ページ。
日本ソロー学会編『新たな夜明け—「ウォールデン」出版150年記念論集』金星堂、2004年、85-98ページ。
山里勝己他編『自然と文学のダイアローグ』彩流社、2004年、81-96ページ。
秋元英一、小塩和人編『豊かさど環境』(シリーズ・アメリカ研究の越境第3巻)ミネルヴァ書房、2006年、41-62ページ。

山下昇、渡辺克明編著『二〇世紀アメリカ文学を学ぶ人のために』第3部第15章、世界思想社、2006年、214-232ページ。

上岡克己、高橋 勤編著『ウォールデン』(もっと知りたい名作の世界)ミネルヴァ書房、2006年、1-21ページ 。
スコット・スロヴィック、伊藤詔子、吉田美津、横田由理編『エコトピアと環境正義の文学—日米より展望する広島よりユッカマウンテンへ』晃洋書房、2008年、62-77ページ。
玉井あきら編『芸術とコミュニケーション—大阪大学、学振プロジェクト報告書』2009年、172-175ページ。
亀井俊介、平石貴樹編著『アメリカ文学研究のニュー・フロンティア』南雲堂、2009年、299-319ページ。

朝日由紀子、桑井輝子、谷中寿子編『アメリカ文化への招待』北星堂、2004年、237-260ページ。
上遠恵子、鈴木善次、上岡克己編『レイチェル・カーソン』ミネルヴァ書房、2007年、162-175ページ。

越智道雄監修、小沢奈美恵、塩谷幸子編集『9.11とアメリカ 映画にみる現代社会と文化』鳳書房、2008年、70-87ページ。

川竹ジョジアース、福田耕介責任編集『映画と文学』弘学社、2010年、79-93ページ。
越智道雄監修、小沢奈美恵、塩谷幸子編集『映画で読み解く現代アメリカ—オバマの時代』明石書店、2015年、208-223ページ。

越森彦責任編集『文学と悪』弘学社、2015年、9-20ページ。

河野千絵	「築地正子の短歌一個の自然・孤の自然」
塩田弘 <p>塩田弘</p> <p>塩田弘</p> <p>塩田弘</p>	「一幅の画、一卷の詩としての風景―ゲーリー・スナイダーの山水空間の創造」
豊里真弓	「共生への誘い―リンダ・ホーガンの『太陽の嵐』における共同体的自己と命を語る言葉」
内藤貴子	「児童文学と自然環境:エコ・アイデンティティを獲得する少年たち」
ハドソン、マーク	「子どもと地球気候変動」
松永京子 <p>松永京子</p> <p>松永京子</p> <p>松永京子</p>	「ウィラ・キャザーとアメリカ南西部―表象と歴史をめぐって」
三浦笙子	「アボカリプティック・ナラティヴの行方―先住民文学と核文学」
三浦笙子	「汚染の言説から多様性の言説へ―ルース・L・オゼキの小説」
三浦笙子	「ウラニウム鉱山とサーモン―アレクシーの詩に見るサバイバルの言説」
三浦笙子	「海のベストセラー『われらをめぐる海』と『海辺』」
三浦笙子	『『モービィ・ディック』におけるエコディストピア―棺、鯨、麻の黙示録』
三浦笙子	「人工楽園の美学」
森田系太郎	「人口問題　増え続ける人口、地球環境へのインパクト」
森田系太郎 <p>森田系太郎</p> <p>森田系太郎</p>	「おわりに――〈他者〉の政治学と環境人文学の地平」
康連垣・李康仙・李暎顯・中村優子・森田系太郎・山本洋平	『『超身体性』で読み解く伊藤比呂美の『河原荒草』――『二つの自然』を超えて』
山本洋平	「環境文学は日韓院生の架け橋となったか？」
山本洋平	「明白ならざる運命―『ウォールデン』における動物表象」
結城正美	「さまよえる血の軌跡――アニー・デラードの自然探究」
結城正美	「文学と環境のリアリズム―レスリー・マーモン・シルコーの物語と写真」
結城正美 <p>結城正美</p> <p>結城正美</p> <p>結城正美</p>	「トウモロコシと人間―農地にみるアーバンの論理」
吉田哲郎	「風景を食べる―アメリカの風景の現在についての断章」
吉田哲郎	「近代と非近代のあいだ―石牟礼道子のまなざしの射程」
吉田哲郎	『『センス・オブ・ワンダー』におけるカーソンの思想的“まなざし”』

生田省吾・村上清敏・結城正美編『「場所」の詩学』藤原書店、2008年、56-67ページ。

伊藤詔子、吉田美津、横田由理編、『新しい風景のアメリカ』南雲堂、2003年、269-289ページ。
安徳軍一編、『愛と想像力の磁場―文学における(愛の構造)探求』、東京教学社、2004年、267-278ページ。
日本ソロー学会編『新たな夜明け―『ウォールデン』出版150周年記念論文集』金星堂、2004年、166-175ページ。
伊藤詔子、吉田美津、横田由理編『エコトピアと環境正義の文学』晃洋書房、2008年、213-226ページ。

西村頼男、喜納育江編著『ネイティブ・アメリカンの文学―先住民文化の変容』ミネルヴァ書房、2002年、166-180ページ。
日本イギリス児童文学会編『英語圏諸国の児童文学Ⅱ――テーマと課題――』ミネルヴァ書房、2011年、145-152ページ。

西九州大学子ども学研究会編『子ども学のすすめ』佐賀新聞社、2012年、112-125ページ。
伊藤詔子、吉田美津、横田由里編著『新しい風景のアメリカ』南雲堂、2003年、198-220ページ。
伊藤詔子、吉田美津、横田由里編著『新しい風景のアメリカ』南雲堂、2003年、358-382ページ。
スコット・スロヴィック、伊藤詔子、吉田美津、横田由里編著『エコトピアと環境正義の文学』晃洋書房、2007年、123-137ページ。
伊藤詔子監修、新田玲子編『カウンターナラティヴから語るアメリカ文学』音羽書房鶴見書店（2012年）310-326ページ。

上岡克己・上遠恵子・原強編著執筆者『レイチェル・カーソン』ミネルヴァ書房、2007年、63-80ページ。
スコット・スロヴィック、伊藤詔子、吉田美津、横田由理編著『エコトピアと環境正義の文学――日米より展望する　広島からユッカマウンテンへ』
晃洋書房、2008年、265-278ページ。
八木敏雄、巽孝之編著『エドガー・アラン・ポーの世紀』研究社、2009年、203-16ページ。

阿部治・野田研一（監修）『あなたの暮らしが世界を変える』山と溪谷社、2007年、74－81ページ。
[台湾語版:『不生病的地球』晨星出版社　2008年]
野田研一・山本洋平・森田系太郎（編著）『環境人文学Ⅱ　他者としての自然』勉誠出版、2017年、333-339ページ。
野田研一・山本洋平・森田系太郎（編著）『環境人文学Ⅰ　文化のなかの自然』勉誠出版、2017年、271-289ページ。

『「場所」の詩学―環境文学とは何か』藤原書店　2008年、　156－158ページ。
日本ソロー学会編『ソローとアメリカ精神――米文学の源流を求めて』金星堂、2012年、125-141ページ。

スコット・スロヴィック、野田研一編著『アメリカ文学の〈自然〉を読む――ネイチャーライティングの世界へ』ミネルヴァ書房、1996年、339-353ページ。
山里勝己、高田賢一、野田研一、高橋勲、スコット・スロヴィック編『自然と文学のダイアログ』彩流社、2004年、111-23ページ。
笹田直人編著『〈都市〉のアメリカ文化学』ミネルヴァ書房、2011年、241-257ページ。
野田研一編著『〈風景〉のアメリカ文化学』ミネルヴァ書房、2011年、61-79ページ。
喜納育江編著『沖縄ジェンダー学　〈伝統〉へのアプローチ』第6章、大月書店、2014年、169-182ページ。

共生社会システム学会編『共生社会システム研究Vol.5,No.1　共生社会における里山の可能性』農林統計出版　2011年、138-53ページ。
伊藤詔子、吉田美津、横田由理編『エコトピアと環境正義の文学』晃洋書房、2007年、123-137ページ。

### 3. 翻訳

原著者名	書名・論文名など
St. Armand, Barton Levi	「科学を静かに退場させて―ソローの実存的ルーミニズムとユートピア的光芒」
St. Armand, Barton Levi <p>デイヴィッド・エイブラム フェイ・ビービ ヘンリー・ベストン ケン・ベラー、ヘザー・チェイス アンネシュ・ブライリイ他編 ローレンス・ビュエル ビュエル, L. ・ハイザ, U. K. ・ソーンバー, K.</p>	「アメリカ死者の書―死後の旅としての「アルンハイムの領地」」 <p>「言語の果肉」</p> <p>「書くプロセスをめぐって―テリー・テンペスト・ウィリアムスとの会話」</p> <p>『ケーブコットの海辺に暮らして』</p> <p>『平和をつくった世界の20人』</p> <p>『アメリカの文化―アンソロジー』</p> <p>『環境批評の未来―環境危機と文学的想像力』</p> <p>「文学と環境」</p>
グレゴリー・ガーリー マイケル・ゴーマン	「美的モダニズムと宮沢賢治のエコロジカルな眼差し」 <p>「ニュークリアリズムと戦後アメリカ文化」</p> <p>「トパーズからグアンタナモ湾へ―オオツカの『天皇が神だったころ』と強制収容所」</p>
ロバート・フィンチ ロバート・フィンチ	『ケーブコットの潮風』 <p>『ケーブコットの四季』</p>
エペリ・ハウオファ	『おしりに口づけを』
ケリー, C. ケリー, C. ハイザ, U. K.	「水」 <p>「空間」</p> <p>「未来の種、未来の住み処―環境人文学序説」</p>
金日究 M. J. Killingsworth & J.S.Palmer	「恩寵としての自然―『水の子』『沈清伝』『バリ王女』のエコロジカルな比較研究」 <p>「『沈黙の春』から『地球温暖化』にいたる終末論的語り」</p>
トーマス・J・ライアン	『この比類なき土地』
レオ・マークス ジェイムズ・ミラー サイモン・J・オーティーズ ウォレス・ステグナー スコット・スロヴィック	「アメリカン・パストラルの思想―イデオロギーとしてのパストラル」 <p>『ミシェル・フーコー／情熱と受苦』</p> <p>「もの―チキンと爆弾」</p> <p>「場所の感覚」</p> <p>「埋め込まれたディスコース、独立したディスコース」</p>
ヘンリー・デイヴィッド・ソロー ヘンリー・デイヴィッド・ソロー ヘンリー・デイヴィッド・ソロー	『ソロー語録』 <p>『森を読む―種子の翼に乗って』</p> <p>『野生の果実』</p>
ジム・ターター	「さらに川下に生きて」
テリー・テンペスト・ウィリアムス テリー・テンペスト・ウィリアムス	『デザート・クアルテット―風景のエロティシズム』 <p>『大地の時間―アメリカの国立公園、わが心の地形図』</p>

### 訳者名・詳細

伊藤詔子訳『エコトピアと環境正義の文学―日米より展望する広島よりユッカマウンテンへ』晃洋書房、2008年、3-20ページ。

伊藤詔子訳『三田文学』（三田文学会）102（2010年夏季号）246-261ページ。
結城正美訳『緑の文学批評―エコクリティシズム』松柏社、1996年、195-222ページ。
野田研一・結城正美・波戸岡景太訳『文学と環境』8(2005): 5-21ページ。
村上清敏訳、本の友社、1997年。
作間和子、浅川和也、岩政伸治、平塚博子共訳、岩波書店、2009年。
藤江啓子訳、大阪教育図書、2012年。
伊藤詔子、横田由理、吉田美津、三浦笙子共訳、音羽書房鶴見書店、2007年。
森田系太郎監訳『文学から環境を考える エコクリティシズムガイドブック』（小谷一明、巴山岳人、結城正美、豊里真弓、喜納育江編著）勉誠出版(2014年) 193-257ページ。

山本洋平訳『水声通信 特集エコクリティシズム』第33号(2010年)154-69ページ。
松永京子訳『原爆文学研究会』11号(2012年)107-116ページ。
松永京子訳、伊藤詔子監修、新田玲子編『カウンターナラティブから語るアメリカ文学』音羽書房鶴見書店(2012年) 263-278ページ。

村上清敏訳、松柏社、1995年。

村上清敏訳、松柏社、1998年。

村上清敏、山本卓共訳、岩波書店、2006年。

森田系太郎訳、『論叢クィア』（クィア学会）第2号(2009年) 136ページ。
森田系太郎訳、『論叢クィア』（クィア学会）第2号(2009年) 137ページ。
森田系太郎訳、『環境人文学Ⅱ 他者としての自然』（野田研一・山本洋平・森田系太郎・編著）勉誠出版(2017年)、249-268ページ。

藤原書店、2008年、126-141ページ。
伊藤詔子訳『緑の文学批評―エコクリティシズム』松柏社、1998年、223-249ページ。

村上清敏訳、英宝社、2000年。

『緑の文学批評―エコクリティシズム』松柏社、1996年、115-141ページ。
田村淑監訳、雲和子、西山けい子、浅井千晶訳、筑摩書房、1998年。
松永京子訳『西日本新聞』、2012年8月13日。
結城正美他訳『フォリオa』2号(特集 アメリカン・ネイチャー・ライティング、1993年) ふみくら書房、112-124ページ。
結城正美訳『ユリイカ』28巻4号(1996年) 青土社、166-180ページ。

岩政伸治編訳、文遊社、2009年。
伊藤詔子訳、宝島社、1995年。
伊藤詔子、城戸光世共訳、松柏社、2002年。

松永京子訳、スコット・スロビック、伊藤詔子、吉田美津、横田由里編著『エコトピアと環境正義の文学』晃洋書房、2007年、138-155ページ。

木下卓・結城正美訳、松柏社、1996年。
伊藤詔子・岩政伸治・佐藤光重訳、彩流社、2019年。

## 4. 書評

<div><b>著者名</b></div> <div>浅井千晶</div> <div>浅井千晶</div> <div>浅井千晶</div>	<div><b>タイトル</b></div> <div>「書評『アメリカ研究』41号 特集:自然と環境」</div> <div>「書評 <i>Beatrix Potter: A Life in Nature</i>, by Linda Lear.」</div> <div>「書評 <i>Rachel Carson: Legacy and Challenge</i>, eds. by Lisa H. Sideris and Kathleen Dean Moore.」</div>	<div><b>詳細</b></div> <div>『ASLE-Japan Newsletter』22号(2007年)12-13ページ。</div> <div>『文学と環境』第11号(2008年)55-56ページ。</div> <div>『ASLE-Japan Newsletter』26号(2009年)17-18ページ。</div>
伊藤詔子	「書評 <i>The Environmental Imagination: Thoreau, Nature Writing, and the Formation of American Culture</i> (Lawrence Buell著)」	『学燈』(1996年7月号)
伊藤詔子	「書評『デザート・クアルテット——風景のエロティシズム』(Terry Tempest Williams著、木下卓・結城正美訳)」	『図書新聞』(1997年)
伊藤詔子	「書評 <i>The Spell of the Sensuous: Perception and Language in a More–Than–Human World</i> (David Abraham著)」	『文学と環境』第1号(1998年)73-74ページ。
伊藤詔子	「書評 <i>Thoreau’s Country: Journey through a Transformed Landscape</i> (David Foster著)」	『英語青年』(1999年10月号)39-40ページ。
伊藤詔子	「書評『つくられた自然』(富山太佳夫他編)」	『文学と環境』第6号(2003年)87-89ページ
伊藤詔子	“Review Essay on Writing on <i>Endangered World: Literature, Culture and Environment in the US and Beyond</i> by L.Buell”	『中四国英語英文学研究』(2003年)
伊藤詔子	「書評『少年ボビーのミズーリ昆虫記』(デーヴィッド・メイヤー著、武藤麻衣子訳)」	『文学と環境』第7号(2004年)103-105ページ。
伊藤詔子	「書評 <i>Practical Ecocriticism</i> (Glen Love著)」	『文学と環境』第8号(2005年)73-75ページ。
伊藤詔子	「書評『越境:周縁・ディアスポラ—三つのアメリカ文学』(松本昇他編著)」	『中四国アメリカ文学研究』(2006年)60-62ページ。
伊藤詔子	「書評『月下の自然—夜の散歩と思索のエッセイ』(ヘンリー・ソロー著)」	『ヘンリー・ソロー研究論集』(2009年)89-92ページ。
岩政伸治	「書評『Natural Life: Thoreau’s Worldly Transcendentalism』』(David M. Robinson 著)	『ヘンリー・ソロー研究論集』32号(2006年) 125-126ページ。
大野美砂	「書評『妖精のキャラバン』』(ビアトリクス・ポター著、久野暁子訳)	<i>Soundings Newsletter</i> 第48号(2003年) 12ページ。
大野美砂	「書評『エコトピアと環境正義の文学—日米より展望する広島からユッカマウンテンへー』』(スコット・スロヴィック、伊藤詔子他編著)	『フォーラム』(日本ナサニエル・ホーソーン協会編) 第14号(2009年)75-80ページ。
茅野佳子	「書評 <i>Our Land Was a Forest</i> (Kayano, Shigeru)」	『文学と環境』第10号(2007年) 59-61ページ。
茅野佳子	「書評『アイヌの治造—ふたりの男が出会わなければ生まれなかった物語』(原田詠志斗著) & 『アイヌ式エコロジー生活—治造エカシに学ぶ、自然の知恵』』(さとうち藍著)	『ASLE-Japan Newsletter』25号(2008年)15-16ページ。
茅野佳子	<i>The Turquoise Ledge: A Memoir</i> (Leslie Marmon Silko著)	『文学と環境』第14号 (2011年)51-53ページ。
茅野佳子	『シートン動物誌』(全12巻)(今泉吉晴監訳)、『シートン動物記』(全15巻)(今泉吉晴訳・解説)、『子どもに愛されたナチュラリスト シートン』(今泉吉晴著)	『文学と環境』第15号(2012年)62-66ページ。
河野千絵	「竹山広歌集『退年』小論—生きてゆく心」	『場』(「場」の会) 第6号(2005年)23-25ページ。
河野千絵	「石川不二子歌集『ゆきあひの空』—永遠の季節の往来」	『場』(「場」の会) 第13号(2008年)36-37ページ。
塩田弘	「書評『自然と文学のダイアローグ—国際シンポジウム沖縄2003 :都市・田園・野生』』(山里勝己他編)	『ヘンリー・ソロー研究論集』第29号 日本ソロー学会(2005年) 120-122ページ。
塩田弘	「書評『場所を生きる—ゲーリー・スナイダーの世界』』(山里勝己著)	『英語青年』1889号、研究社(2006年) 52ページ。
塩田弘	「書評『ウォールデン』』(上岡克己・高橋勤編著)	『ヘンリー・ソロー研究論集29号』日本ソロー学会(2007年) 120-122ページ。
松永京子	「書評『ロマンチック・エコロジーをめぐるて』』(石幡直樹、佐々木郁子、結城正美、吉川朗子、小田友弥、山内正一著)	『ASLE-Japan Newsletter』第22号(2007年)11ページ。
松永京子	「書評『レイチェル・カーソン』』(上岡克己、上遠恵子、原強編著)	『中・四国アメリカ文学研究』第44号(2008年)49-51ページ。
松永京子	「書評『「辺境」の抵抗—核廃棄物とアメリカ先住民の社会運動』』(鎌田遵著)	『アメリカ研究』(アメリカ学会) 第42号(2008年)189-194ページ。
松永京子	「輪読報告 <i>All Over Creation</i> 」	『エコクリティシズムレビュー』第1号(2008年)40-46ページ。
松永京子	「輪読報告 <i>So Far from God</i> 」	『エコクリティシズムレビュー』第2号(2009年)54-60ページ。
三浦笙子	「作品輪読報告 <i>Reinventing Eden: The Fate of Nature in Western Culture</i> 」(Carolyn Merchant 著)	『エコクリティシズム研究会会報』第3号(2008年) 49-51ページ。
三浦笙子	「作品輪読報告 <i>Letters from an American Farmer</i> 」(John De Crevecoeur著)	『エコクリティシズム研究会会報』第3号(2008年) 12-14ページ。
三浦笙子	「作品輪読報告 <i>White Noise</i> 」(John DeLillo著)	『エコクリティシズム研究会会報』第4号(2008年) 29-31ページ。
三浦笙子	「書評 <i>Writing for an Endangered World</i> , 2001.」(Lawrence Buell著)	『エコクリティシズム・レビュー』第1号(2008年) 63-68ページ。
三浦笙子	「書評『「他者」で読むアメリカン・ルネサンス』』(福岡和子著)	The Edgar Allan Poe Society of Japan Newsletter第2号(2008年)8ページ。
三宅由夏	「書評『エドゥアール・グリッサン——<全・世界>のヴィジョン』 (中村隆之著)」	『れにくさ』 (東京大学現代文芸論研究室紀要) 第7号 (2017年) 158-59ページ。
村上清敏	「書評『エコトピアと環境正義の文学—日米より展望する広島からユッカマウンテンへー』』(スコット・スロヴィック、伊藤詔子他編著)	『英文學研究』第86巻(2009年)93-98ページ。
森田系太郎	「書評 今村仁司『交易する人間(ホモ・コムニクス)』」	『文学と環境』(ASLE-Japan／文学・環境学会) 第12号(2009年) 68-70ページ。
森田系太郎	「書評 マーゴ・デメット著、田中洋美監訳、兼子歩・齋藤圭介・竹崎一真・平野邦輔訳『ボディ・スタディーズ—性、人種、階級、エイジング、健康／病の身体学への招待—』」	『ジェンダー史学』(ジェンダー史学会) 第14号(2018年) 190-191ページ。
山田悠介	『『「場所」の詩学—環境文学とは何か』』(生田省悟、村上清敏、結城正美・編)	『異文化コミュニケーション論集』(立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科) 第7号(2009年)189-192ページ。
山本洋平	「ジョージ・W・クローニン編 渡辺信二訳『アメリカン・インディアンの歌』』(松柏社)」	『英米文学』(立教大学文学部英米文学専修) 第67号(2007年)87-89ページ。
山本洋平	「書評 加藤幸子『心ヲナクセ体ヲ残セ』」	『文学と環境』(文学・環境学会/ASLE-Japan) 第12号(2009年)66-67ページ。
山本洋平	「書評 梨木果歩『f植物園の巢穴』」	『文学と環境』(文学・環境学会/ASLE-Japan) 第13号(2010年)56-57ページ。
山本洋平	「書評 松本昇他『バード・イメージ—鳥のアメリカ文学』」	『ヘンリー・ソロー研究論集』第37号(2011年)97-99ページ。
山本洋平	「書評 多田満『レイチェル・カーソンに学ぶ環境問題』」	『文学と環境』(文学・環境学会/ASLE-Japan) 第15号(2012年)67-68ページ。
山本洋平	「書評『アーネスト・ヘミングウェイ』』(日本ヘミングウェイ協会編)」	「図書新聞」第3087号(2012年11月24日)6ページ。
山本洋平	「書評 Ian F. Finseth. <i>Shades of Green: Visions of Nature in the Literature of American Slavery, 1770-1860</i> . Athens: U of Georgia P, 2009」	『立教レビュー』第42号(2013年)29-33ページ。

結城正美	「書評『新たな夜明け—『ウォールデン』出版150年記念論集』」	(日本ソロー学会編)『英文學研究』第82号(2005年)94-97ページ。
結城正美	「書評『場所を生きる—ゲーリー・スナイダーの世界』』(山里勝己著)	『沖繩タイムス』2006年4月15日。
結城正美	「書評『ピスタチオ』』(梨木香歩著)	『週刊読書人』(2010年11月26日)5ページ。
結城正美	「書評『「移動」のアメリカ文学』』(山里勝己編)	『琉球新報』(2011年6月26日)
結城正美	「書評『ストレンジオグラフィ』』(管啓次郎著)	『文学と環境』17号(2014年) 51-53ページ。



## 5. エッセイ

著者名	タイトル
浅井千晶 浅井千晶 浅井千晶 浅井千晶	「現代とカーソン:ネイチャーライティング」 「「センス・オブ・ワンダー」清里フォーラムに参加して」 「ナショナル・トラストと環境保全運動」 「ワーズワスの「水仙」をめぐるって」
浅井千晶	「カーソンと海の詩人たち——イマジネーションのたいせつさ」
浅井千晶 浅井千晶 浅井千晶 浅井千晶 浅井千晶 浅井千晶	「ブックガイド Lois Marie Gibbs著 <i>Love Canal</i> 」 「トークショー:母と子のセンス・オブ・ワンダー」 「Narrative Criticismのワークショップに参加して」 「海外学会報告:第7回ASLE-US大会(2007年6月12-16日, Spartanburg, SC)」 「カーソンの別荘を訪ねて」 「海外学会報告:第5回Environmental Writers’ Conference(2008年6月10-13日, Boothbay Harbor, ME)」
アレン、ブルース アレン、ブルース	「時間を繕う」 「Arundhati Roy と生きることの真の代価について」
伊藤詔子	「透明な眼球とエマソン生誕200年」
岩政伸治 岩政伸治	「亜米利加中央奇譚:ASLE-USの大会に参加して」 「英語教育リレーコラム 私が影響を受けた本 <i>The Sense of Wonder</i> 」
大野美砂 大野美砂	「Shinobazu Study Groupに参加して」 「アリス・ウォーカーのネイチャー・ライターとしての横顔」
茅野佳子 茅野佳子	「癒しの時代—〈儀式〉に代わるものを求めて」 「ASLE-US大会に初参加して」 「Coming Nearer the Ground: An ASLE Symposium on the South」 「アフリカからアメリカへ—海を越えた〈コーラスする身体〉」 「第五回ASLE-US国際大会報告」 「アメリカ発・もうひとつの世界を創るために—ローカルから世界へ」 「グローバルゼーションと環境公正シンポジウム報告」 「ASLE-USオレゴン大会分科会報告」 「太鼓の音・声・つながることへの希求—『スカイ、僕は疲れてしまった。』」 「ジョイ・ハーゾの世界に触れて」 「ナイロビからアトランタへ—第一回アメリカ社会フォーラムに集った〈マルチ チュード〉」 「第七回ASLE-US大会報告」 「リー・マーモンの60年—先住民写真家の記録したプエブロの暮らしと世界観」 「続・アイヌ民族に『環境正義』を〜『場』を求める声に耳を傾けて」 「第9回ASLE-US大会報告」 「海を渡ったアイヌのアーティスト〜米国オレゴン州で木とともに生きる二谷政道さん」
河野千絵 河野千絵	「ラウンドテーブル報告」 「馬場昭徳論」
塩田弘 塩田弘 塩田弘 塩田弘	「エコクリティシズム研究でSherman AlexieのReservation Bluesを読む」 「忘れ去られた森林思想家—明治期広島の実業家・八田家の「森林思想」」 「21世紀の若者文化とエドガー・アラン・ポー」 「シンポジウム要旨・ゲラリー・スナイダー in アジア」

## 詳細

『レイチェル・カーソン日本協定会報』32号(2003年) 11-13ページ。  
『ASLE-Japan Newsletter』16号(2004年)10－11ページ。  
『レイチェル・カーソン日本協定会報』35号(2004年) 4-7ページ。  
『ASLE-Japan Newsletter』18号(2005年)7－8ページ。  
『レイチェル・カーソン日本協定会報』臨時号[レイチェル・カーソンの世界へ——シンポジウムと講演会](2005年) 11-12ページ。  
『レイチェル・カーソン日本協定会報』36号(2005年) 22-25ページ。  
『レイチェル・カーソン日本協定会報』38号(2007年) 12-14ページ。  
『ASLE-Japan Newsletter』23号(2007年)15－16ページ。  
『エコクリティシズム・レヴュー』1号(2008年)73ページ。  
『ASLE-Japan Newsletter』26号(2009年)10-11ページ。  
『エコクリティシズム・レヴュー』2号(2009年)68-69ページ。

『ASLE-Japan Newsletter』4号(1996年): 10-11ページ。  
『ASLE-Japan Newsletter』13号(2002年): 4-7ページ。

『ヘンリー・ソロー研究論集』(2003年)55-57ページ。

『ASLE-Japan/文学・環境学会ニューズレター』19号（2005年）。9-10ページ。  
『三省堂ホームページ』(2008年) http://tb.sanseido.co.jp/english/index.html

『ASLE-Japan Newsletter』24号(2008年)8－9ページ。  
『ASLE-Japan Newsletter』28号(2010年)14-15ページ。

『接続』第1号(2001年)192－197ページ。  
『ASLE-Japan Newsletter』11号(2001年)9ページ。  
『ASLE-Japan Newsletter』12号(2002年)6－10ページ。  
『接続』第2号(2002年)264－271ページ。  
『ASLE-Japan Newsletter』15号(2003年)2－4ページ。  
『接続』第 4号(2004年)272－281ページ。  
『ASLE-Japan Newsletter』18号(2005年)10－11ページ。  
『ASLE-Japan Newsletter』19号(2005年)7－9ページ。  
『接 続』第5号(2005年)86－96ページ。  
『ASLE-Japan Newsletter』22号(2007年)17－18ページ。  
『接続』第5号(2005年)34－80ページ。  
『ASLE-Japan Newsletter』23号(2007年)7－18ページ。  
『ASLE-Japan Newsletter』24号(2008年)3－5ページ。  
『ASLE-Japan Newsletter』28号(2010年)7－10ページ。  
『ASLE-Japan Newsletter』31号(2011年)5－6ページ。  
『ASLE-Japan Newsletter』31号(2011年)8－9ページ。

『ASLE-Japan Newsletter』25号(2008年)7－8ページ。  
『心の花』1317号(2008年)170-172ページ。

『ASLE-Japan Newsletter』15号(2003年) 5-6ページ。  
『ASLE-Japan Newsletter』16号(2004年) 12-13ページ。  
『日本ポー学会 ニューズレター』1号(2007年) 5ページ。  
『ASLE-Japan Newsletter』23号(2008年) 9-10ページ。

多田満	『生態学』講義-ネイチャーライティングの関わりから	『ASLE-Japan Newsletter』27号(2009年)15－16ページ。
豊里真弓 豊里真弓	「報告:ワークショップ『アイヌ民族に《環境正義》を一環境文学研究における新たな場所論へ』」 「2010年度全国大会『とっておきの場所トーク』報告」	『ASLE-Japan Newsletter』27号(2009年)11ページ。 『ASLE-Japan Newsletter』29号(2010年)9－10ページ。
内藤貴子	「イギリス児童文学に描かれた自然回帰のイメージ——Melvin Burgess, <i>The Cry of the Wolf</i> の場合」	『ASLE-Japan Newsletter』32号(2012年)9－10ページ。
松永京子 松永京子 松永京子 松永京子 松永京子 松永京子 松永京子	「ASLE-US大会報告(サウスカロライナ州ウォフォード大会／2007年6月12-16日)」 「海外学会報告:第42回Western Literature Association 大会(2007年10月17-20日、Tacoma, WA)」 「『レズビアン文学』と『環境文学』が出会うところ——シェリー・モラガに学ぶ——」 「海外学会報告:第43回Western Literature Association 大会(2008年10月1-4日、Boulder, CO)」 「Winter on the Lake (2009-2010) エリー湖の冬」 「レッド・ステイトで原爆を語るということ」 「第20回ASLE-Japan 全国大会報告」	『ASLE-Japan Newsletter』23号(2007年)16-17ページ。 『エコクリティシズム・レビュー』1号(2008年)74ページ。 『ASLE-Japan Newsletter』26号(2009年)14-15ページ。 『エコクリティシズム・レビュー』2号(2009年)70-71ページ。 『ASLE-Japan Newsletter』28号(2010年)11-12ページ。 『原爆文学研究』10号(2011年)222-26ページ。 『ASLE-J Newsletter』第37号(2015年) 7ページ。
三浦笙子 三浦笙子	「(異文化コミュニケーション授業教育法研究)『華氏911』—ディベートとアイデンティティ」 「女性の自由を切り拓いた人—レイチェル・カーソンの生きた時代」	中京大学評論誌『八事』第21号(2005年)173-177ページ。 『婦人之友』第102巻第11号(2008年8月)88-92ページ。
三宅由夏 三宅由夏	「第22回ASLE-Japan／文学・環境学会 全国大会報告」 「The Institute for World Literature——参加記香港2014」	『ASLE-Japan／文学・環境学会Newsletter』41号(2016年)4-5ページ。 『れにくさ』(東京大学現代文芸論研究室紀要)第6号(2016年)535-37ページ。
森田系太郎 森田系太郎 森田系太郎 森田系太郎 もりたけいたろう 森田系太郎 森田系太郎	「環境文学は自然を救える、のか？」 「人は自然と共生できるのか？」 「Self-Ethnographic Note:台湾国際学会にヨソ者として参加して」 「東アジア環境文学のゆくえ—中国・武漢『文学と環境に関する国際会議』に参加して」 「〈わたし〉とネイチャーライティングとしての短歌」 「研究発表3:『場所をめぐる物語』としての『赤毛のアン』と『武蔵野』」 『異色の環境詩人』の過剰な東京デビュー？」	『ASLE-Japan Newsletter』第20号 2006年 13-14ページ。 『ASLE-Japan Newsletter』第21号 2006年 7-8ページ。 『ASLE-J Newsletter』第22号 2007年 4-5ページ。 『ASLE-J Newsletter』第25号 2008年 9ページ。 『ASLE-J Newsletter』第26号 2009年 15-16ページ。 『ASLE-J Newsletter』第27号 2009年 9-10ページ。 『立教大学伊藤比呂美・講演会レポート』(2010年)http://www.rikkyo.ac.jp/feature/lecture_report/2010/10/eco-opera-1.htmlより情報取得。
山本洋平 山本洋平 山本洋平	「立教大学公開講演会「環境と文学のあいだ2」」 「大学院という進路」 「環境文学キーワード集、現在「準備中」？それとも「座礁中」？」	『ASLE-Japan Newsletter』17号(2004年)10ページ。 『RIKKYO HANDBOOK 2006』(2006年)107ページ。 『ASLE-Japan Newsletter』24号(2008年)15ページ。
結城正美 結城正美 結城正美 結城正美 結城正美 結城正美 結城正美	「海外新潮(3) 忘れられた言語への旅」 「海外新潮(3) Environment-poem」 「海外新潮(3) 海を歩く」 「海外新潮(3) Mary Oliverの神秘的即物性」 「海外新潮(3) PLACE and PEACE」 「海外新潮(3) 記憶の使徒」	『英語青年』150.1(2004年4月)46ページ。 『英語青年』150.3(2004年6月)30ページ。 『英語青年』150.5(2004年8月)37ページ。 『英語青年』150.7(2004年10月)40ページ。 『英語青年』150.9(2004年12月)41ページ。 『英語青年』150.11(2005年2月)40ページ。

## 6. 学会発表

発表者名	発表タイトル	詳細
浅井千晶	『『芽生え』にみられるラファエル前派の自然観』	第18回奈良女子大学英語英米文学会 1989年11月23日 奈良女子大学。
浅井千晶	「Carsonの自然観の変遷——海の三部作から <i>Silent Spring</i> へ」	第8回ASLE-J/文学・環境学会全国大会 2002年10月12日 明治学院大学。
浅井千晶	「 <i>Beloved</i> における復讐としての食」	黒人研究の会5月例会 2005年5月28日 大阪工業大学。
浅井千晶	「Olive Schreinerと南アフリカの風景—— <i>The Story of an African Farm</i> を中心に」	第11回ASLE-J/文学・環境学会全国大会 2005年10月17日 札幌大学。
浅井千晶	「There can be no separate literature of science——レイチェル・カーソン『潮風の下で』」	第35回奈良女子大学英語英米文学会 2006年11月28日 奈良女子大学。
浅井千晶	「トニ・モリスンの『パラダイス』にみる楽園の所在——ユートピア、エコトピア、ヘテロトピア」	黒人研究の会4月例会 2007年4月28日 神戸市立外国語大学。
浅井千晶	「ワークショップ:ポスト・カーソンと環境正義の文学」	司会:横田由理 報告:浅井千晶、中垣恒太郎、横田由理、松永京子 第46回日本アメリカ文学会全国大会 2007年10月14日 広島経済大学。
浅井千晶	シンポジウム「カーソンと海の倫理」	司会・報告:浅井千晶 報告:岩政伸治、工藤貴史 コメンテーター:三浦笙子 第22回エコクリティシズム研究会 2009年9月21日 東京海洋大学。
浅井千晶	『『崖の上のポニョ』における海辺の両義性』	第38回奈良女子大学英語英米文学会 2009年11月28日 奈良女子大学。
岩政伸治	「The Lament of Poor Chillingworth」	Soundings英語英米文学会 1993年5月14日 東洋大学。
岩政伸治	「The Tragedy of Roger Chillingworth」	大学院英米文学専攻課程協議会 1993年11月20日 立教大学。
岩政伸治	『『緋文字』における監視の社会について』	Soundings英語英米文学会 1994年5月7日 東洋大学。
岩政伸治	「Gary Snyderの見た宮沢賢治の「自然」」	上智大学英文学会 1994年10月22日 上智大学。
岩政伸治	「Footsteps of Henry David Thoreau」	上智大学英文学会 1996年10月26日 上智大学
岩政伸治	「Gary Snyder Meets Miyazawa Kenji」	ASLE-Japan全国大会1998年10月19日 アステルブラザ。
岩政伸治	「Snyderと宮沢賢治の「場所」の意識をめぐって」	西田幾多郎記念館付属精神文化研究所 第19回夏期哲学講座 1999年8月23日 宇ノ気町役場。
岩政伸治	「ThoreauのHieroglyph解説」	第39回日本アメリカ文学会全国大会 2000年10月14日 同志社大学。
岩政伸治	「Urban Natureとは何か」	ASLE-Japan全国大会 2001年9月16日 青山学院大学。
岩政伸治	「ソローの作品に見られる相対的な時間への目覚め」	日本アメリカ文学会東京支部会2002年11月30日 慶應義塾大学。
岩政伸治	「ソローと宮沢賢治ーネイチャー・ライティングを基本に」	日本ソロー学会全国 2003年5月23日 慶應義塾大学。
岩政伸治	「Ante- bellum時代の時間の意識ーソローを中心に」	日本ナサニエル・ホーソーン協会東京支部2月例会 2004年2月28日 日本大学。
岩政伸治	「エコクリティシズムで見る「場所」について」	西田幾多郎記念哲学館夏期セミナー研究発表 2004年8月23日 西田幾多郎記念哲学館。
岩政伸治	「西田幾多郎に見るエコクリティシズムの可能性」	ASLE-JAPAN / 文学・環境学会全国大会2004年9月5日 金沢大学。
岩政伸治	「Snyderの詩における場所の修辞学」	Soundings英語英米文学会 2007年5月12日 上智大学。
岩政伸治	「西田哲学と環境批評」	西田幾多郎記念哲学館夏期セミナー研究発表 2007年8月27日 西田幾多郎記念哲学館。
岩政伸治	「レイチェル・カーソン」出版の集い	発表者氏名(本人を含む) 上遠恵子、鈴木善次、上岡克己、浅井千晶、三浦笙子、原 強、伊藤詔子、竹内通夫、岩政伸治 2008年4月9日 東京大学。
松岡幸司、川嶋直、岩政伸治	「大学の環境教育における環境文学について」	ASLE-Japan全国大会ラウンドテーブル 2009年8月31日 清泉寮。
岩政伸治	「レイチェル・カーソンの作品に見る場所の力学について」	エコクリティシズム研究会2009年9月21日 東京海洋大学。
茅野佳子	「アフリカ系アメリカ人の歴史と環境的不公正ーリチャード・ライトの『1,200万人の黒人の声』における田舎と都市の環境を読む」	文学・環境学会沖縄国際シンポジウム 2003年3月6日 琉球大学。
茅野佳子	「環境文学とエコクリティシズムの関係ーそのダイナミズムを定義する試み」	文学・環境学会10周年記念全国大会ラウンドテーブル「エコクリティシズム再考」の中での発表 2004年9月4日 金沢大学。
茅野佳子	「場所・人間・文学ーアメリカ南西部のカレイドスコープを読む」	明星大学学術フォーラム 2005年1月22日 明星大学。
茅野佳子	「ピーター・テイラーの越境する〈南部〉～南部白人作家の描く人種関係と黒人像に関する研究」	日本アメリカ文学会2005年度北海道支部大会 2005年12月3日 北星学園大学。
茅野佳子	「ネイチャー・フェイカーズ論争の真実～汚名を着せられたアーネスト・T・シートン」	ASLE-Japan2012年度全国大会 2012年8月31日 近畿大学。
多田満	「R.Carson,Silent Springと有吉佐和子『複合汚染』にみられる化学物質の生態影響-環境研究の観点から」	ASLE-Japan 10周年記念全国大会 2004年 金沢大学。
多田満	「環境芸術について(1)環境-科学-芸術のつながり」	環境芸術学会第10回大会 2009年 横浜。
多田満	「環境芸術について(2)環境-人-芸術のつながり」	環境芸術学会第11回大会 2010年 神戸。
田中都	「アメリカ南部から北部へと移動する黒人における「場所の感覚」」	英米文化学会第150回例会 2016年6月11日 日本大学。
田中都	「黒人女性の「場所」とジェンダー規範ー『ママ・デイ』に見る女性化された場所ー」	英米文化学会2017年度全国大会 2017年9月9日 法政大学。
内藤貴子	「Going downstream to “a hell of a river”——ディヴィッド・アーモンド『ヘヴンアイズ』における“vision”の変容と自然表象」	ASLE-Japan／文学・環境学会2012年度全国大会 2012年9月1日 近畿大学。
内藤貴子	「エコロジカル・アイデンティティを掴むキャラクターたち——ボストン、ピアスの児童文学に描かれた自然表象」	日本児童文学学会2012年度9月例会 2012年9月8日 日本フラワーデザイン専門学校。
内藤貴子	「シヴォーン・ダウド『ボグ・チャイルド』における場所性と湿地遺体のナラティヴィティ」	ASLE-Japan / 文学・環境学会2013年度全国大会 2013年9月1日 白百合女子大学。
中川直子	「没頭体験から見る心象風景:Annie Dillard, An American Childhood のテキスト構造分析を中心に」	立教・異文化コミュニケーション学会第9回大会 2012年6月9日 立教大学。

松永京子	「レスリー・マーモン・シルコーの作品にみるアメリカ南西部:『セレモニー』と『死者の暦』
松永京子	「黒い雨は平等にふりかかるか?--人種、ジェンダー、植民地主義」
松永京子	「環境アクティヴィズム・チカーナ文学・環境正義」
松永京子	「Cherrie Moragaの <i>Heroes and Saints</i> における宗教的シンボリズムと環境アクティヴィズム」
松永京子	「原爆を生き延びるということ―原爆文学と汚染の言説」
松永京子	「チカーノ／チカーナ演劇と環境アクティヴィズムの歴史と系譜 ― Cherrie Moraga の <i>Heroes and Saints</i> を中心に」
松永京子	「解体される「ヒロシマ」の「平和」 ― ジェラルド・ヴィゼナーの『ヒロシマ・プギ アトム57』
松永京子	「核をめぐる文学と多様性」
松永京子	「先住民文学と(ポスト)コロニアリズム―シャーマン・アレクシーの詩と核の言説」
松永京子	「引き継がれる自伝、教材としての成長物語―Ann Moody の <i>Coming of Age in Mississippi</i> 」
松永京子	「日米の教育現場から」
松永京子	「アグリビジネスへの抵抗―ルース・L・オゼキの小説にみるアグリカルチュラル・アクティヴィズム」
松永京子	「核をめぐるアメリカ南西部の文学―サイモン・J・オーティーズの詩を中心に」
松永京子	「原子について語るとき―マリルー・アウィアクタと原子の詩学」
松永京子	「科学と原子が会おうとこゝろ―マリルー・アウィアクタと原子をめぐるナラティヴの挑戦」
松永京子	「3.11以降のトランスパシフィック・ナラティヴ―Ruth L. Ozekiの <i>A Tale for the Time Being</i> を中心に」

三浦笙子	『モービィ・ディック』におけるエコディストピア―棺、鯨、麻の黙示録」
三宅由夏	「ジャメイカ・キンケイド『川底に』における<わたし>の記述」
三宅由夏	「前エディプス期の政治性―ジャメイカ・キンケイドの初期作品を読む」
三宅由夏	「<子ども>であること―キンケイドによるイギリス児童文学のアダプテーション」
三宅由夏	「文学・環境学会、院生企画クロスレヴュー―スベトラーナ・アレクシェービッチ著『チェルノブイリの祈り―未来の物語』」
三宅由夏	「ジーン・リース『サルガッソーの広い海』における複数のモダニズム」
三宅由夏	「カリブ海の自意識―ジーン・リース『サルガッソーの広い海』にみる複数のモダニズム」
三宅由夏	「院生企画―動物（へ）の変身」

森田系太郎	「韓国環境詩人・崔勝鎬の成果性、不可能性、そして可能性」
森田系太郎	「クエア・エコフェミニストでエコポエト?: 詩人・伊藤比呂美を読み直す」
森田系太郎	「環境的再帰性の構築に向けて」
森田系太郎	「日本の歴代女性大臣のエコフェミニスト分析」
森田系太郎	「〈空間〉(場所)とクィアー詩人Caffyn Kellyの場合」
森田系太郎	「エコロジカル・アイデンティティをめぐる」
森田系太郎	「環境文学はエコロジカル・アイデンティティを育む」
森田系太郎	「富岡多恵子の『芻狗』:(女)、動物(的)、スキゾ」

山田悠介	「自然と人間のやりとり―『海のみた』における「くれる」「てくれる」の研究―
山田悠介	『『あたし』と『私』―吉本ばなな『キッチン』の隠喩的コード・スイッチング―
山本洋平	「John Brownと <i>The Maine Woods</i> ―Henry Thoreauの〈市民的不服従〉の展開」
山本洋平	「必然が産む文体―ソロー、ディラード、ネルソン、動物遭遇譚」
山本洋平	「韓国環境文学をめぐる―金芝河を読む」
山本洋平	「The Muse Speaks in Prose― <i>A Week on the Concord and Merrimack Rivers</i> における散文的詩と詩的散文」
山本洋平	「“Cat in the Rain” ―環境批評による再考」
山本洋平	“The Portrait of a Poet from Political Commitment to Environmental Awareness: Rereading Kim Chiha”
山本洋平	「環境文学における巡礼者の系譜(1)―Thoreau以前」
山本洋平	「環境文学における巡礼者の系譜―Henry Thoreauの場所の感覚と歴史感覚」
山本洋平	「“Put all America behind him”― <i>Cape Cod</i> における風景と(反)ナショナリズム」
山本洋平(コーディネータ・司会)	「ワークショップ 教材徹底討論」
山本洋平(ワークショップ・コーディネータ兼発表者)	「ヘミングウェイと動物表象」

結城正美	「環境と言葉―日米比較環境文学研究の立場から」
結城正美	「Ruth Ozekiのハイブリッドな食風景」
結城正美	「気候変動とNovel」
横田由理	「空に親族を持つということ―太陽・月・星と現代ネイティブ・アメリカ文学」
横田由理	「ネイティブ・アメリカンと環境正義」
横田由理	「鳥の表象を通してみる二つのアメリカ」
横田由理	「Dislocation, Relocation, and Emplacement―北米先住民文学を通して見る「都市インディアン」の実像と課題―」
吉田哲郎	「脱近代の自然観としての『センス・オブ・ワンダー』」

ASLE-J/文学・環境学会全国大会 2000年10月 京都。  
ASLE-J/文学・環境学会全国大会ラウンドテーブル 2006年9月10日 東北大学。  
日本アメリカ文学会ワークショップ 2007年10月13日 広島経済大学。  
中・四国アメリカ文学会第37回大会、2008年6月7日 ノートルダム清心女子大学。  
ASLE-J 年度大会ラウンドテーブル 2008年10月14日 国立大学研修九重共同研究所。

中・四国アメリカ学会第36回年次大会シンポジウム 2008年12月7日 広島大学千田町キャンパス。

第26回原爆文学研究会 2008年12月20日 九州大学。  
九州アメリカ文学会第55回大会シンポジウム「横断性と多様性:多文化主義の再考」2009年5月10日 琉球大学。  
第24回エコクリティシズム研究会シンポジウム「エスニシティとエコクリティシズム―現代エスニック・アメリカ文学を読む」2011年8月8日 広島大学東千田町キャンパス。  
日本マーク・トウェイン協会2011年度年次大会シンポジウム「アメリカ文学と自伝」2011年10月7日 近畿大学。  
原爆文学研究会創立10周年記念ワークショップ「原爆文学 この10年、これからの10年」2011年12月25日 福岡大学。  
アメリカ学会第46回年次大会部会「食と住の社会正義」2012年6月3日 名古屋大学。  
第39回原爆文学研究会ワークショップ「北米文学における核の表象について」2012年7月8日 広島大学東千田キャンパス。  
九州アメリカ文学会第59回大会シンポジウム「アトミック・エイジのアメリカ文学」 2013年5月11日 県立長崎シーボルト大学。

中・四国アメリカ文学会第42回大会ワークショップ「カウンターナラティヴから読むアメリカ文学」 2013年6月9日 松山大学。

中・四国アメリカ学会第43回年次大会シンポジウム「アメリカ研究のグローバル化1―太平洋世界とアメリカ」 2013年11月30日 広島経済大学立町キャンパス。

エコクリティシズム研究会 2006年2月 広島大学千田町キャンパス。
------------------------------------

文学・環境学会第21回全国大会 2015年08月23日 安藤百福自然体験指導者養成センター。  
日本ラカン協会第15回大会 2015年12月13日 専修大学。

環カリブ文化研究会 2016年3月6日 立命館大学。

文学・環境学会第22回全国大会 2016年8月20日 AOSSA 福井市地域交流プラザ。

環カリブ文化研究会2017年3月5日 立命館大学。  
日本ラテンアメリカ学会第38回定期大会 2017年6月4日 東京大学。  
文学・環境学会第23回全国大会 2017年8月24日 清泉女子大学、パネル企画、発表。

第12回ASLE-J/文学・環境学会全国大会 2006年9月 東北大学。  
ASLE-Japan日韓合同シンポジウム口頭発表 2007年8月 金沢文化ホール。  
日本国際文化学会 2007年度臨時秋季研究大会口頭発表 2007年9月 早稲田大学。  
第2回21世紀社会デザイン研究会年次大会口頭発表 2007年12月 立教大学。  
第15回ASLE-J/文学・環境学会全国大会 2009年8月 山梨県清里高原清泉寮本館。  
2010年度JOHA連続ワークショップ:わたしたちの歴史を創造する、わたしたちの歴史を書く―第7回目・オーラル・ヒストリー のさまざまな表現の方法 2010年12月12日 横浜文化創造都市スクール。  
第16回ASLE-J/文学・環境学会全国大会 2010年8月29日 まつだいふるさと会館。  
第20回ASLE-J/文学・環境学会全国大会 2014年11月24日 名桜大学。

文学・環境学会2008年度全国大会 2008年10月13日 国立大学研修九重共同研究所。  
早稲田大学日本語学会2009年度前期研究会 2009年7月4日 早稲田大学。

アメリカ文学会東京支部会分科会 2005年6月13日 慶應義塾大学。  
文学・環境学会/ASLE-Japan第11回全国大会 2005年10月17日 札幌大学。  
文学・環境学会/ASLE-Japan第12回全国大会 2006年9月9日 東北大学。

日本ソロー学会 2006年10月13日 青山学院大学。

日本ヘミングウェイ協会 2006年12月17日 関東学院大学。  
文学環境学会/ASLE日韓合同シンポジウム 2007年8月19日 金沢大学。  
立教環境文学フォーラム(RECF)、2009年2月28日 立教大学。  
文学・環境学会／ASLE-Japan第15回全国大会 2009年8月30日 清里清泉寮。  
日本ソロー学会2009年度全国大会 2009年10月9日 立正大学。  
日本英文学会関東支部例会、2010年5月1日 東京大学駒場キャンパス。  
日本ヘミングウェイ協会例会、2012年5月26日 専修大学生田キャンパス。

日本近代文学会春季大会シンポジウム「(環境)のなかの表象と心」、2008年5月25日、東洋大学。  
アメリカ文学中部支部例会、2014年2月15日、富山大学。  
日本英文学会全国大会シンポジア第七部門「新しいNovelのかたち」、2015年5月24日、立正大学。

アメリカ文学会東北支部大会シンポジウム 2006年1月28日 東北大学。  
日本アメリカ文学会全国大会ワークショップⅡ 「ポスト・カーソンと環境正義の文学」 2007年10月14日 広島経済大学。  
日本アメリカ文学会全国大会ワークショップⅡ「鳥の表象―エスニシティを越えて」 2008年10月12日 西南学院大学。  
中・四国アメリカ学会第36回年次大会シンポジウム 2008年11月29日 広島経済大学。

総合人間学会第6回研究大会 2011年6月12日 明治大学。

## 7. 講演

<b>講演者名</b>	<b>講演タイトル</b>
浅井千晶	「現代とレイチェル・カーソン」
浅井千晶	「海の作品から」
浅井千晶	「センス・オブ・ワンダーと子ども」
浅井千晶	「レイチェル・カーソンを伝えるための教材研究」
浅井千晶	「ピーターラビットの世界」
浅井千晶	「ピアトリクス・ボターと英国絵本」
アレン、ブルース	「私達の生活と環境ーその展望について」
アレン、ブルース	「日本人と自然」
アレン、ブルース	「石牟礼道子の世界」
アレン、ブルース	「石牟礼道子ー21世紀への応答」
伊藤詔子	「野生の果実を中心とするソロー自然史作品の現代的意義について」
伊藤詔子	「消えゆく『ウォールデン』のマイノリティとソローの語りの戦略」
伊藤詔子	「エコクリティシズム第2波について」
伊藤詔子	「環境文学の世界」
伊藤詔子	「キーツ、ソロー、カーソン」
伊藤詔子	「名作の世界『沈黙の春』」
岩政伸治	「アメリカにおける環境文学の動向と宮沢賢治の受容」
岩政伸治	「レイチェル・カーソン 汚染と解毒の文学」
茅野佳子	「環境文学からのメッセージー記憶・想像力・語りの力」
多田満	「化学物質とネイチャーライティング」
松永京子	「カリフォルニアにおけるメキシコ系労働者と環境正義の問題」
三浦笙子	(シンポジウム)「今、レイチェル・カーソンを語る」
村上清敏	「アメリカのネイチャーライティング/環境文学」
結城正美	「水俣、物語、希望――石牟礼道子『苦海浄土』を中心に」
結城正美	「エコクリティシズム(環境文学研究)とは何か」

### 詳細

第3回クロスカルチュラル・フォーラム～多文化共生を目指して～ 2006年2月10日 京都府相楽郡精華町「精華町交流ホール」。

レイチェル・カーソン生誕100年記念行事:レイチェル・カーソンの広場 2007年5月20日 思文閣美術館。

千里金蘭大学子ども学市民講座 2007年11月27日 千里金蘭大学。

レイチェル・カーソン関西セミナー2008・第3回 2008年8月2日 京都せいきょう会館。

千里金蘭大学子ども学市民講座 2008年11月11日 千里金蘭大学。

千里金蘭大学子ども学市民講座 2009年11月24日 千里金蘭大学。

招待講演 2002年10月19日 湘北短期大学。

ASLE-Japan/文学・環境学会招待講演 2005年10月17日 札幌大学。

基調講演 2008年3月 熊本大学。

(熊本大学シンポジウム「石牟礼道子文学:がん材から未来へ」)2009年5月30日 熊本県民会館。

近畿大学英文学会2000年6月。

九州アメリカ文学会春季研究会講演 2005年3月。

大阪大学環境と文学プロジェクト 2006年3月 大阪大学。

広島大学公開講座 2006年3月 広島大学千田キャンパス。

中四国ロマン派学会特別講演 2007年6月。

中京大学英文学会 2007年6月。

岩手大学招聘 2008年6月13日 岩手大学。

杉並区中央図書館招聘 2008年11月22日 杉並区中央図書館。

ネットワーク多摩主催「大学生によるECOフォーラム2007 in TAMA」基調講演 2007年12月8日 明星大学。

環境学セミナー招待講演(明星大学環境学研究会) 2005年 明星大学。

千葉商科大学経済研究所「日米IT産業のグローバル展開と経済社会の変遷」プロジェクト公開セミナー 2009年3月4日 千葉商科大学。

『レイチェル・カーソン』出版記念講演会 2008年2月 東京大学弥生講堂。

英語英文学研究所招待講演 2008年11月18日 東北学院大学。

平成21年(第38回)度石川県読書グループを結ぶつどい講演、2009年9月6日、石川県立図書館。

立教大学東アジア環境問題研究所公開講演会「環境と文学のあいだ」講演、2003年6月7日、立教大学。

## 8. 環境に関する活動

氏名	内容	詳細
浅井千晶	「ライブ・メッセージ・ショー「センス・オブ・ワンダー」」 ゲスト: 上遠恵子、森本二太郎、押尾光太郎 (現: 押尾コータロー)	大学祭 1997年11月2日 金蘭短期大学。
浅井千晶	映画『センス・オブ・ワンダー』吹田自主上映会	2001年9月21日 吹田市文化会館メイシアター。
浅井千晶	レイチェル・カーソン日本協会の会員(2001年～現在)、同協会理事(2005年―2008年) レイチェル・カーソン日本協会関西フォーラムの運営委員(2008年～現在) 協会の活動として、ワークショップ、シンポジウム、セミナー、講演会などを企画・運営。	
伊藤詔子	エコクリティシズム研究会開催(1994年～2010年)(1回～23回)。	
大野美砂	千葉商科大学経済研究所の研究プロジェクト「日米IT産業のグローバル展開と経済社会の変遷」(研究代表者 千葉商科大学教授・小倉信次)で、シリコンバレーと環境正義の問題に関する調査を担当。2007年4月～2011年3月	
多田満	レイチェル・カーソン日本協会会員	
塚本正司	講義「自然誌文学を一緒に読みましょう」	東京都下広域市民塾 2013年10月～14年3月 (1回・2時間/各月)
内藤貴子	「児童文学が描くイギリスの風土と子ども」	児童文学連続講座 2013年11月11日 国立国会図書館国際子ども図書館。
森田系太郎 森田系太郎	WWFジャパン(元アシスタント)(2005年9月～2010年8月) 立教大学ESD研究センター(元Research Assistant)(2010年3月～2012年3月)	
山本洋平	文部科学省研究費、研究協力者「グローバリゼーションと反グローバリゼーションの相克ー捕鯨を手がかりとして」 (研究代表者 立教大学教授・荒野泰典)、・北米東海岸調査報告 (ニュー・ベッドフォード、ナンタケット島、2004年9月8日～16日)	
結城正美	環境文学をテーマとする授業の担当:「環境文学」(金沢大学)、 「地球環境と持続可能な社会づくり」(オムニバス、金沢大学)、 「環境文学を読む」(放送大学)	

## 9. その他

### (1)環境に関する内容を含む教科書

<b>著者名・翻訳者名</b>	<b>書名</b>	<b>詳細</b>
Allen, Bruce <p>Allen, Bruce and Makoto Shishido 岩政伸治、Arthur Mitchell、相原尚美、市岡伸夫、岩政裕美子、大野美砂、坂内太</p> <p>岩政伸治、市岡伸夫、内田均、大野美砂、坂内太、Jonathan Mack 岩政伸治、市岡伸夫、岩政裕美子、内田均、大野美砂、坂内太、Allen, Bruce</p>	<i>Voices of the Earth: Stories of People, Place, and Nature Environment and Health</i> (『環境と健康』) <p>『Different Voices―日本と世界の情勢を知る12の記事』</p> <p>『Different Histories―もう1つの現代アメリカ史12章』</p> <p>『Different Perspectives―英語で読む世界情勢と重要課題』</p>	Tokyo: Shohakusha, 1998. <p>Tokyo: Seibido, 2000.</p> <p>金星堂、2004年。</p> <p>金星堂、2008年。</p> <p>金星堂、2014年。</p>
Takada, Kenichi, Bruce Allen, Yuri Yokota and Yuko Aihara 横山竹己、佐々木肇、亀山征史、近藤裕子、佐藤智子、大野美砂、James Gurley John Janovy Jr.著、野田研一、加藤貞通、結城正美編	<i>Echoes of the Environment: Interviews with 12 Japanese Leaders</i> (『環境の未来-日本からの提言』) <p>『21世紀の生活と創造』</p> <p>『Ten Minute Ecologist　地球が減べば人も滅びるーエコロジーとは何か』</p>	Tokyo: Tsurumi Shoten, 2000. <p>青踏社、2002年。</p> <p>金星堂、1998年。</p>

### (2)その他

<b>氏名</b>	<b>内容</b>	<b>詳細</b>
浅井千晶	シンポジウム「レイチェル・カーソン　高知からの発信」コーディネーター:上岡克己、報告:深瀬直子、上久保由佳、上岡克己、浅井千晶	レイチェル・カーソン日本協会・レイチェルの会　2005年4月16日　高知市立自由民権記念館。
浅井千晶	『レイチェル・カーソン』(ミネルヴァ書房)出版記念講演会「今、レイチェル・カーソンを語る」講演:高田宏、パネリスト:上遠恵子、鈴木善次、上岡克己、原強、伊藤詔子、三浦笙子、岩政伸治、浅井千晶	2008年2月9日　　東京大学農学部弥生講堂。
伊藤詔子	「出版記念シンポジウム『レイチェル・カーソン』(ミネルヴァ書房)『『沈黙の春』とフェミニズム』	2008年2月　東京大学農学部弥生講堂。
伊藤詔子	科研報告文書『野生の果実』を中心とするソロー自然史作品の現代的意義について』	研究期間：2001年度～2002年度、研究分野:英語・英米文学、研究種目:基盤研究(C)、研究機関:広島大学。
伊藤詔子	科研報告文書『周縁世界の総合人間学的研究-共生型社会構築のための基礎研究として』	代表　岡橋　秀典(共同研究)、研究期間：2002年度～2004年度、研究分野:人文地理学→人文地理学研究種目:萌芽研究、研究機関:広島大学。
伊藤詔子	科研報告文書『アメリカ環境文学の風景構築における人種とジェンダーの問題について』	研究期間：2003年度～2004年度、研究種目:基盤研究(C)、研究機関:広島大学。
伊藤詔子	科研報告文書『文学批評理論としてのエコクリティシズム確立にむけての研究』	研究期間：2005年度～2006年度　、研究分野:ヨーロッパ語系文学、研究種目:基盤研究(C)、研究機関:広島大学→松山大学。
伊藤詔子	科研報告文書『アメリカ環境文学における汚染と身体表象と風景のエコクリティシズム的研究』	研究期間：2009年度～2010年度、研究分野:英米・英語圏文学、研究種目:基盤研究(C)→基盤研究(C)、研究機関:松山大学。
茅野佳子	「アイヌ民族に『環境正義』を」	ASLE-Japan 2010年度年次大会(山梨県清里清泉寮)にて、長谷川修さん(当時アイヌ民族グループ「レラの会」会長、アイヌウタリ連絡会事務局長)によるワークショップを企画・司会進行。2010年8月30日。
茅野佳子	「同化政策が奪えなかったもの」	ASLE-Japan 2011年度年次大会(明治大学生田キャンパス)にて、アイヌ文化伝承活動家の浦川治造さんによるワークショップを企画・司会進行。2011年8月26日。
田中都	研究ノート「場所(地形)の観点から読むグロリア・ネイラー (Gloria Naylor)の作品『ママ・デイ』覚え書き」	『かりん・かりん: 女性学・ジェンダー研究』第11号(2011年)　13-27ページ。
内藤貴子	「児童文学が描くイギリスの風土と子ども」	『国際子ども図書館児童文学連続講座講義録「英米児童文学をめぐる時代と環境』』国立国会図書館国際子ども図書館、2014年、23-49ページ。
森田系太郎	「訳者解題」	『論叢クィア』(クィア学会)第2号(2009年)138－140ページ。
森田系太郎	<a href="#">『エコフェミニズム／エコロジカルフェミニズム「ecofeminism / ecological feminism」』</a>	『ASLE-J 環境文学用語集』2011年8月7日。
森田系太郎	「京都議定書」	『異文化コミュニケーション事典』春風社、2013年、564-565ページ。
森田系太郎	<a href="#">『クィア・エコロジー／クィア・エコフェミニズム「Queer Ecology / Queer Ecofeminism」』</a>	『ASLE-Japan／文学・環境学会　環境文学用語集』2015年3月29日。
森田系太郎	<a href="#">『環境正義(環境的正義・環境公正・環境的公正)「Environmental Justice」』</a>	『ASLE-Japan／文学・環境学会　環境文学用語集』2015年3月29日。より情報取得
森田系太郎	「環境正義(環境的正義・環境公正・環境的公正)」	『文学から環境を考える　エコクリティシズムガイドブック』(小谷一明、巴山岳人、結城正美、豊里真弓、喜納育江編著)勉誠出版、2014年、277-278ページ。
森田系太郎	「クィア・エコロジー／クィア・エコフェミニズム」	『文学から環境を考える　エコクリティシズムガイドブック』(小谷一明、巴山岳人、結城正美、豊里真弓、喜納育江編著)勉誠出版、2014年、279-280ページ。
森田系太郎	「エコフェミニズム(エコロジカル・フェミニズム、環境フェミニズム)」	『文学から環境を考える　エコクリティシズムガイドブック』(小谷一明、巴山岳人、結城正美、豊里真弓、喜納育江編著)勉誠出版、2014年、267-268ページ。
スコット・スロヴィック(聞き手:森田系太郎、山本洋平)	『『二五年後』のエコクリティシズム』	『環境人文学Ⅱ　他者としての自然』(野田研一・山本洋平・森田系太郎・編著)勉誠出版、2017年、287-332ページ。

## Publications in English

### 1. Books (Single Author/Single Editor)

Authors	Titles
Haga, Koichi Kayano, Yoshiko Yuki, Masami	<i>The Earth Writes: The Great Earthquake and the Novel in Post-3/11 Japan.</i> <i>Peter Taylor’s South: Crossing Boundaries in a “Tennessee Caravan.”</i> <i>Foodscapes of Contemporary Japanese Women Writers: An Ecocritical Journey around the Hearth of Modernity.</i>

### Books (Co-author/Co-editor)

Authors	Titles
Allen, Bruce and Yuki Masami, eds.	<i>Ishimure Michiko’s Writing in Ecocritical Perspective: Between Sea and Sky.</i>
Gebhardt, Lisette, and Yuki Masami, eds.	<i>Literature and Art after “Fukushima”: Four Approaches.</i>
Morita, Keitaro	“Ecomedia Nurture Japanese Ecological Identity.”

### 2. Papers (1)Published in Magazines

Authors	Titles
Allen, Bruce	“Renku: The Revival of Japanese Linked Poetry in the West.”
Allen, Bruce	“Nature in American Transcendentalism and Haiku Poetry.”
Allen, Bruce	“The American Indian and Henry Thoreau.”
Allen, Bruce	“Poetic Reforms of Masaoka Shiki.”
Allen, Bruce	“Progressive Responses to Western Learning in Pre-Meiji Japan.”
Allen, Bruce	“Wisdom and Science.”
Allen, Bruce	“The Historical Literature of Mori Ogai.”
Allen, Bruce	“Modern Western Literary Theory and Japanese Literature.”
Allen, Bruce	“Of Geishas and Grizzlies: On Nature Writing in Japan.”
Allen, Bruce	“Circle and Sacred Pipe: Unifying Principles of Native American Thought.”
Allen, Bruce	“Nature Writing West and East: Traditions and Trends.”
Allen, Bruce	“Susa-no-o’s Legacy: From Trickster and Ecological Themes in the Kojiki.”
Allen, Bruce	“Ando Shoeki’s Ecological Philosophy.”
Allen, Bruce	“Patriotism.”
Allen, Bruce	“The Ecological Philosophy of Ando Shoeki.”
Allen, Bruce	“Yakushima.”
Allen, Bruce	“Cape Cod: Writing on the Edge.”
Allen, Bruce	“Departures, Returns.”
Allen, Bruce	“Edo Period Ecological Change and the Wild Boar Famine of 1749.”
Allen, Bruce	“Endurance.”
Allen, Bruce	“Departures and Returns: Time Near a Japanese Pond.”
Allen, Bruce	“Water in the City.”
Kato, Daniela and Bruce Allen.	“Toward an Ecocritical Approach to Translation: A Conceptual Framework.”

Asai, Chiaki	“ <i>Under the Sea-Wind</i> : First in a Treasure Chest of Sea Books from Rachel Carson.”
Haga, Koichi Haga, Koichi	“Island of Dreams and HyperText in Literature.” “Questioning the Virtual.”

Hudson, Mark, Mami Aoyama, Kara Hoover, Junzo Uchiyama.	“Prospects and challenges for an archaeology of global climate change.”
Hudson, Mark and Mami Aoyama.	“Landscape, birds and occupation: Towards an ecocritical theory of occupation in Terry Tempest Williams’ Refuge.”
Aoyama, Mami, Mark Hudson, Kara Hoover.	“Occupation mediates ecosystem services with human well-being.”

Itoh, Shoko	“Thoreau’s Walden in the Global Community.” (based on the Presentation in Symposium at Thoreau Society Annual Conference in Concord)
-------------	--

Kayano, Yoshiko	“Burden, Escape, and Nature’s Role: A Study of Janie’s Development in <i>Their Eyes Were Watching God</i> .”
Kayano, Yoshiko	“Nature’s Role in the Southern Literary Renaissance: A Study of Two Protagonists.”
Kayano, Yoshiko	“Uprooted Southern Children: A Comparative Study of Childhood and Environment in the Fiction of Peter Taylor and Willa Cather.”
Kayano, Yoshiko	“The Last Dream of an Exile: Richard Wright’s HAIKU and Mississippi Landscapes.”
Kayano, Yoshiko	“Survival of Indigenous Culture and Environmental Justice: Power of “ <i>Charanke</i> ” by an Ainu Writer/Activist.”

Publication Details
Lanham: Lexington Books, 2019.
Tokyo: Hitsuji Shobo, 2004.

Trans. Michael Berman. New York: Palgrave Macmillan, 2015.

Publication Details
Lanham, N.J.: Lexington Books, 2015.

Berlin: EB-Verlag, 2014.

In S. Slovic, S. Rangarajan & V. Sarveswarana (Eds.), *Routledge Handbook of Ecocriticism and Environmental Communication*. Oxford, the U.K.: Routledge: 2019. 351–362.

Publication Details
<i>Juntendo University Bulletin of Letters and Science</i> 28(1985): 24–40. <i>Juntendo University Bulletin of Letters and Science</i> 30(1987): 25–43. <i>Juntendo University Bulletin of Letters and Science</i> 31(1988): 14–26. <i>Juntendo University Bulletin of Letters and Science</i> 32(1989): 7–16. <i>Juntendo University Bulletin of Letters and Science</i> 33(1990): 22–32. <i>Juntendo University Bulletin of Letters and Science</i> 34(1992): 72–78. <i>Juntendo University Bulletin of Letters and Science</i> 35(1993): 29–38. <i>Juntendo University Bulletin of Letters and Science</i> 36 (1994): 48–57. <i>Newsletter</i> (Association for the Study of Literature and Environment in Japan) 3(1995): 6–9. <i>Juntendo University Bulletin of Letters and Science</i> 37(1995): 27–36. <i>Juntendo University Journal of Liberal Arts and Sciences</i> 1(1996): 11–20. <i>Juntendo Medical Journal</i> 42(1997): S1–S9. <i>Juntendo Medical Journal</i> 43(1998): S23–S31. <i>The Kyoto Journal</i> 37(1998): 122–129. <i>Literature and the Environment: The Journal of the Association for Literature and the Environment in Japan</i> (『文学と環境』) 1(1998) : 45–51. <i>The Kyoto Journal</i> 40(1999): 78–85. <i>Literature and the Environment: The Journal of the Association for Literature and the Environment in Japan</i> (『文学と環境』) 2(1999): 14–20. <i>The Kyoto Journal</i> 42(1999): 32–35. <i>Literature and the Environment: The Journal of the Association for Literature and the Environment in Japan</i> (『文学と環境』) 4(2001): 52–57. <i>ISLE: Interdisciplinary Studies in Literature and Environment</i> 9(2002): 207–214. <i>Irish Pages: A Journal of Contemporary Writing</i> 1(2002): 218–223. <i>Concentric: Literary and Cultural Studies</i> 34(2008): 157–170. <i>The 2014–2015 Report on the State of the Discipline of Comparative Literature</i> (American Comparative Literature Society) March 2014. <a href="http://stateofthedisipline.acla.org/entry/toward-ecocritical-approach-translation-conceptual-framework">http://stateofthedisipline.acla.org/entry/toward-ecocritical-approach-translation-conceptual-framework</a> . (Web).

『千里金蘭大学紀要』生活科学部・人間社会学部第4号(2007年)21–26ページ。

<i>PAJLS</i> 7 (2008): 392–400. <i>Journal of the Visualization Society of Japan</i> 26 (2006): 219–222.
---

<i>WIREs Climate Change</i> 3 (2012): 313–328
---

*West Kyushu Journal of Rehabilitation Sciences* (西九州リハビリテーション研究)5 (2012): 25–32.

<i>Journal of Occupational Science</i> 19 (2012): 213–225.
--

*Thoreau Saunterer* 12&13 (2004):34–37.

*POMPA* (=Publication of the Mississippi Philological Association) (1999): 36–44.

*Meisei Review* 14 (2000): 95–112.

*Research Bulletin of Meisei University Humanities and Social Sciences* 37 (2001): 145–153.

*Meisei Review* 19 (2004): 15–35.

*Green Horizon Quarterly* 16 (2007): 25–27.



Kayano, Yoshiko	“Let Indigenous Voices Be Heard in the World: A Report on the Indigenous Peoples Summit in <i>Ainu Mosir</i> 2008.”
Kayano, Yoshiko	“ ‘To Carry in Our Hearts Their Affection for the Land’: Exploring ‘Another Tradition’ in Narrative History of African American Farmers.”
Kohno, Chie	“A Study of Mary Russel Mitford: the Charm of <i>Our Village</i> .”
Matsunaga, Kyoko Matsunaga, Kyoko	“Resisting and Surviving Apocalypse: Simon J. Ortiz’s (Post) Colonial Nuclear Narrative.” “Leslie Marmon Silko and Nuclear Dissent in the American Southwest”
Miura, Shoko Miura, Shoko	“Rachel Carson and Nature Writing.” “Rachel Carson’s ‘Material Immortality’ and Melville’s <i>Moby-Dick</i> .”
Morita, Keitaro. Morita, Keitaro. Morita, Keitaro. Morita, Keitaro. Morita, Keitaro. Morita, Keitaro.	“Queer ecopoet?: An analysis of “Chitô [Tito]” by Japanese poet Hiromi Ito.” “ <i>The shadow of America</i> and ecological identity: A case study of an environmental NGO in Japan.” “Ecopoeta queer? Uma análise de “Chitô [Tito]”, da poeta japonesa Hiromi Ito.” “Nature writing cultivates ecological identity: A case study of an environmental NGO in Japan.” “School Education and Ecological Identity.” “Ecocriticism and Gender/Sexuality Studies: A Book Review Article on New Work by Azzarello and Gaard, Estok, and Oppermann.”
Ohno, Misa	“Two Roles of the Letter A: Hawthorne’s Ambivalence toward the Gender Stereotype in <i>The Scarlet Letter</i> .”
Ohno, Misa	“Southern Womanhood, the Racial Other, and Amalgamation: Death and Revivification of Two Beautiful Women in E. A. Poe’s ‘Ligeia.’”
Shiota, Hiroshi Shiota, Hiroshi Shiota, Hiroshi	“Ecological Awareness in Cultural Context: Rachel Carson and Gary Snyder.” “Gary Snyder’s Philosophical Perspective for Composing <i>No Nature</i> : A Fusion of Buddhism and Postmodernism.” “A Comparative Consideration: The Huckleberry in Thoreau, Twain and Snyder.”
Toyosato, Mayumi. Toyosato, Mayumi.	“Land and Hawaiian Identity: Literary Activism in Kiana Davenport’s <i>Shark Dialogues</i> .” “Living in Place as African American Tradition: Inhabitory Consciousness in <i>Her Own Place</i> .”
Yamamoto, Yohei.	“Savages in the Market: Ambivalent Representations of Native Americans in <i>Walden</i> .”
Yuki, Masami Raker Yuki, Masami Raker	“The Logic of Sustainability in Ikezawa Natsuki’s Ecofiction.” “New Life, New Language: Ecological Identity in the Work of Morisaki Kazue.”
Yuki, Masami.	“Morisaki Kazue’s Diasporic Interventions in Language.”
Yuki, Masami. Yuki, Masami.	“Why Eat Toxic Food?: Mercury Poisoning, Minamata, and Literary Resistance to Risks of Food.” “Analyzing <i>Satoyama</i> : A Rural Environment, Landscape, and Zone.”

*Green Horizon Magazine* 18 (2008): 7–9.

*Meisei International Studies* 1 (2009): 55–65.

『えちゅーど』第25号(1995年)53–65ページ。

*Southwestern American Literature*. Fall (2008): 15–27.  
*Japanese Journal of American Studies*. No. 25. (2014): 67–87.

『東京水産大学論集』第38号(2003年)1–22ページ。  
『文学と環境』第7号(2004年)57–69ページ。

*The Paulinian Compass* 1(4) (2010): 101–120.  
*Japan Oral History Review* 7 (2011): 73–88.  
*Estudos Feministas, Florianópolis* 19 (2011): 265–82.  
*Literature and Environment* 16 (2012): 17–27.  
*Rikkyo ESD Journal* 2 (2014): 26–29.

*CLCWeb: Comparative Literature and Culture* 16.4 (2014): <http://dx.doi.org/10.7771/1481-4374.2578>

*Soundings* 29 (2003年): 83–98.

『千葉商大紀要』第42巻3号(2004年)81–92ページ。

*Language and Culture* 7 (1999): 84–95.

*Kyushu American Literature*. 40 (1999):53–62.

*Studies in Henry David Thoreau* 27(2001): 33–42.

*Bucknell Review* 44:1 (2000): 71–81.  
『文化と言語』札幌大学外国語学部紀要 *Culture and Language* 60 (2004): 27–44.

The Thoreau Society of Japan. *Studies in Henry David Thoreau* 37 (2011): 35–42.

*Foreign Literature Studies* 5 (Central China Normal University, 2008): 1–9.  
『言語文化論叢』第13号(金沢大学外国語教育研究センター, 2009年3月)151–166ページ。  
*IJOS: International Journal of Okinawan Studies* 2.2 (special issue of Women and Globalization, ed. by Takemura Kazuko, 2011): 31–40.  
*ISLE: Interdisciplinary Studies in Literature and Environment* 19.4 (2012): 732–750.  
*POETICA* 80 (special issue of Japan and Ecocriticism, ed. by David Bialock and Ursula Heise, 2013): 51–63.

## (2) Published in Books

Authors	Titles	Publication Details
Allen, Bruce and Ken Akiyama	“Pre-Modern Japanese Nature Writing: The Example of Ando Shoeki.”	<i>Literature of Nature: An International Sourcebook</i> . Ed. Patrick D. Murphy. Chicago: Fitzroy and Dearborn Publishers, 1998. pp. 281–283.
Allen, Bruce	“Ando Shoeki, Ecology and Language.”	<i>Writing Under the Sign of Nature: New Essays in Ecocriticism</i> . Ed. John Tallmadge and Henry Harrington. Salt Lake City: University of Utah Press, 2000. pp. 299–314.
Allen, Bruce	“The Multi-Dimensioned World of Ishimure Michiko’s <i>Lake of Heaven</i> .”	<i>Environment and Literature: Studies on the History and Theory of American and Japanese Nature Writing</i> . Tokyo: Japan Ministry of Education and Science Research Grant Publication, 2003. pp. 227–238.
Allen, Bruce	“Ishimure Michiko’s <i>Paradise in the Sea of Sorrow</i> , and <i>Lake of Heaven</i> .”	<i>Japanese Environmental Literature</i> . Kanazawa: Association for the Study of Literature and Environment, Japan Publications., (introduction) 1–4, (translation) 48–59. 2007.
Allen, Bruce	“Facing the True Costs of Living: Arundhati Roy and Ishimure Michiko on Dams and Writing.”	<i>Coming into Contact: Explorations in Ecocritical Theory and Practice</i> . Ed. Dan Philippon. Athens, Georgia: University of Georgia Press. 2007. pp.154–167.
Allen, Bruce	“Bridges to Reconciliation: The Restorative Vision of Ishimure Michiko.”	<i>Proceedings of International Conference on Literature and Environment, Wuhan 2008</i> . Ed. Nie Zhenzhao and Chen Hong. Wuhan, China: Huazhong Normal University Press, 2011. pp. 483–496.
Allen, Bruce	“First There Were Stories: Michiko Ishimure’s Narratives of Resistance and Reconciliation.”	<i>East Asian Ecocriticisms: A Critical Reader</i> . Ed. Simon C. Estok and Won-Chung Kim. New York: Palgrave Macmillan, 2013. pp. 35–57.
Allen, Bruce	“Introduction.”	<i>Japanese Tales from Times Past: Stories of Fantasy and Folklore from the Konjaku Monogatari Shu</i> (collection of 90 medieval Japanese tales) (with Naoshi Koriyama) Rutland Vt.: Tuttle, 2015. pp. 16–22.
Allen, Bruce	“The Noh Imagination in <i>Shiranui</i> and the Work of Ishimure Michiko.”	<i>Between Sea and Sky</i> . Ed. Bruce Allen and Yuki Masami. Lanham, N. J.: Lexington Books, 2016. pp. 173–188.
Fujie, Keiko	“The Wall of Modernization: ‘Bartleby, the Scrivener: A Story of Wall-Street.’”	Ed. Arimichi Makino. <i>Melville and the Wall of the Modern Age</i> . Tokyo: Nan’un-Do, 2010. pp. 97–119.
Itoh, Shoko	“Study of Cape Cod:from Wilderness to Wasteland.”	Eds., Inoue, Aso, Itoh. <i>Studies of Henry David Thoreau</i> . Rokko Shobo, 2001. pp. 30–42.
Matsunaga, Kyoko	“From Apocalypse to Nuclear Survivance: The Transpacific Nuclear Narrative in Gerald Vizenor’s <i>Hiroshima Bugi: Atomu 57</i> .”	Ed. Benjamin D. Carson. <i>Sovereignty, Separatism, and Survivance: Ideological Encounters in the Literature of Native North America</i> . Cambridge Scholars, 2009: 110–128.
Matsunaga, Kyoko	“Bridging Borders: Leslie Marmon Silko’s Cross-Cultural Vision in the Atomic Age.”	Ed. Linda Moser and Kathryn West. <i>Critical Insights: American Multicultural Identity</i> . New York: Salem Press, 2014: 170–184.
Morita, Keitaro.	“A Queer Ecofeminist Reading of ‘Matsuri [Festival]’ by Hiromi Ito.”	Eds. Simon C. Estok and Won.-Chung. Kim. <i>East Asian Ecocriticisms: A Critical Reader</i> . New York: Macmillan, 2013.
Yuki, Masami Raker	“Sound Ground to Stand On: Soundscape in Williams’s Work.”	Ed. Katherine R. Chandler and Melissa A. Goldthwaite. <i>Surveying the Literary Landscapes of Terry Tempest Williams: New Critical Essays</i> . Salt Lake City: University of Utah Press, 2003. 81–93.
Yuki, Masami.	“Towards a Language of Life: Ecological Identity in the Work of Morisaki Kazue.”	Ed. Simon C. Estok and Kim Won-Chung. <i>East Asian Ecocriticisms: A Critical Reader</i> . New York: Palgrave Macmillan, 2013. 17–33.
Yuki, Masami.	“Ecocriticism in Japan.”	Ed. Greg Garrard. <i>The Oxford Handbook of Ecocriticism</i> . New York: Oxford University Press, 2014. 519–526.
Yuki, Masami.	“Language and Imagination Before and After Fukushima: A Concept of Zone as a New Theoretical Framework in Taguchi Randy’s Works.”	Ed. Thomas M. Bohn, Thomas Feldhoff, Lisette Gebhardt, and Arndt Graf. <i>The Impact of Disaster: Social and Cultural Approaches to Fukushima and Chernobyl</i> . Berlin: EB-Verlag, 2015. 215–226.

## 3. Translations

Authors	Titles	Publication Details, including the names of translators
Ishimure, Michiko	“Lake of Heaven.”	(translation and introduction to a chapter of Ishimure Michiko’s <i>Tenko</i> ) Trans. Bruce Allen and Akamine Reiko. <i>Organization and Environment</i> 11(1998): 480–486.
Ishimure, Michiko	“ <i>Lake of Heaven</i> , Dams, and Japan’s Transformation.”	Trans. and introduction, Bruce Allen. <i>The Asia-Pacific Journal: Japan Focus #1731</i> (online journal), 2006.(http://japanfocus.org/article.asp?id=533) 1–10, 2006.
Ishimure, Michiko	<i>Lake of Heaven</i> (novel)	Trans. Bruce Allen. (石牟礼道子の小説『天湖』の翻訳、解釈、前書き) Lanham: Lexington Books, 2008.
Ishimure, Michiko	<i>Japanese Tales from Times Past: Stories of Fantasy and Folklore from the Konjaku Monogatari Shu</i> (collection of 90 medieval Japanese tales from the Konjaku Monogatari Shu)	Trans. Naoshi Koriyama and Bruce Allen. Rutland, Vt.: Tuttle, 2015.
Ishimure, Michiko	“Towards the Paradise of Flowers” (「花の億土へ」) (2-hr. documentary film on Ishimure Michiko).	Trans. Bruce Allen. Tokyo: Fujiwara Shoten, 2014.
Ishimure, Michiko	“Shiranui” (Japanese Noh play).	Trans. Bruce Allen.and Aihara Yuko. <i>Ishimure Michiko’s Writing in Ecocritical Perspective: Between Sea and Sky</i> , Ed. Bruce Allen and Yuki Masami. Lanham, N. J.: Lexington Books. 189–198. 2016.
Morisaki, Kazue	“New Life.”	Trans. Masami Raker Yuki. <i>ISLE</i> 13.1 (2006): 183–88.

## 4. Book reviews

Writers	Titles	Publication Details
Allen, Bruce	Rev. of “The Lost Wolves of Japan.”	<i>ISLE: Interdisciplinary Studies in Literature and Environment</i> 13(2006): 235–236.
Allen, Bruce	Rev. of <i>The Greening of Literary Scholarship: Literature, Theory, and the Environment</i> , Ed. Steven Rosendale	<i>Literature and the Environment: The Journal of the Association for Literature and the Environment in Japan</i> (『文学と環境』) 7(2004): 93–94.
Yuki, Masami.	Rev of <i>The Southwest in American Literature and Art: The Rise of a Desert Aesthetic</i> , by David W. Teague.	<i>ISLE</i> 6.1 (1999): 162–63.
Yuki, Masami Raker	Rev. of <i>The Sounds of Place: Music and the American Cultural Landscape</i> , by Denise Von Glahn	<i>ISLE</i> 13.1 (2006): 286–88.
Yuki, Masami Raker	Rev. of When Our Eyes No Longer See: Realism, Science, and Ecology in Japanese Literary Modernism, by Gregory Golley	<i>ISLE</i> 16.4 (2009): 874–75.
Yuki, Masami.	Rev. of <i>Japan at Nature’s Edge: The Environmental Context of a Global Power</i> , by Ian Jared Miller, Julia Adeney Thomas, Brett L. Walker.	H-Asia H-Net Review, March 2015

## 5. Essays

Authors	Titles
<b>6. Presentations</b>	
<b>Presenters</b>	<b>Titles</b>
Allen, Bruce	“Nature Writing In Japan.”
Allen, Bruce	“Traditions and Connections between Nature Writing in Japan and the US.”
Allen, Bruce	“Susa-no-o: Trickster and Ecological Themes in the <i>Kojiki</i> .”
Allen, Bruce	“Ando Shoeki and the Obscuring of Nature in the Written Word.”
Allen, Bruce	“Future Possibilities of Nature Writing in Japan.”
Allen, Bruce	“Cape Cod Literature: Writing on the Edge.”
Allen, Bruce	“Urban Nature.”
Allen, Bruce	“The Multi-dimensional World of Ishimure Michiko.”
Allen, Bruce	“Ishimure Michiko and Arundhati Roy on Environment and Writing.”
Allen, Bruce	“Facing the Real Costs of Living: Arundhati Roy and Ishimure Michiko on Dams and Writing.”
Allen, Bruce	“Ishimure Michiko: Restoring the Senses in a Deafening Age”
Allen, Bruce	“Educating for Our Environmental Future.”
Allen, Bruce	“The Development of Ecocriticism and Environmental Writing in Japan.”
Allen, Bruce	“The Art and Experience of Literary Translation.”
Allen, Bruce	“Modernization, Dams, and Environment in the Writing of Ishimure Michiko.”
Allen, Bruce	“Ishimure Michiko and East Asia: A Vision for Environmental and Cultural Reconciliation.”
Allen, Bruce	“Ishimure Michiko’s Response to Modernity: Recognition, Reawakening of Senses, Resistance, Reconciliation, and Community.”
Allen, Bruce	“Toward the Paradise of Flowers: An Introduction to the World of Ishimure Michiko,” with showing of my translation of the documentary film on Ishimure.
Allen, Bruce	“Nurturing Kotodama—the Spirit of Words.”
Allen, Bruce	“Lights to Our Future: Stories of Trial and Hope from Fukushima, Minamata, and Japan.”
Allen, Bruce	“Non-linear Narratives and Writing the Unwritable into Stories in the Work of Ishimure Michiko.”
Allen, Bruce	“Saving the Waters: The Work of Ishimure Michiko, Environmental Activist and Writer.”
Allen, Bruce	“Ishimure Michiko, Water, and Ecocriticism.”
Allen, Bruce	“Ishimure Michiko, the Arts, and Social Responsibility.”
Asai, Chiaki	“A Treasure Chest of Sea Books for Rachel Carson in Creating <i>Under the Sea-Wind</i> .”
Asai, Chiaki	“Two Perspectives on the World of Animals: <i>Tarka the Otter</i> and <i>Under the Sea-Wind</i> .”
Haga, Koichi	“Eco-critical Approach to Ōe Kenzaburō’s ‘Pinch Runner Memorandum.’”
Haga, Koichi	“Alice in Japan, Mechanical Dream and Japanese Contemporary Writings.”
Itoh, Shoko	“What is Ecocriticism?”
Itoh, Shoko	“A Tradition of Japanese Nature Writing.”
Itoh, Shoko	“Leap From the Utah Desert to the Garden of the Delights.”
Itoh, Shoko	“Poe’s Gothic Sublime”
Itoh, Shoko	“Going Down into the Toxic Inferno in <i>Silent Spring</i> .”
Iwamasa, Shinji	“Thoreau’s Scientific Vision.”
Iwamasa, Shinji	“Deconstructing Intelligent Design: Applying Nishida Kitaro’s Logic of Basho to Eco-criticism.”
Iwamasa, Shinji	“Gary Snyder and Zen Buddhism in America.”
Iwamasa, Shinji	“Thoreau’s Dialectic Vision for Democracy.”
Iwamasa, Shinji	“Nothingness in the Poems of Gary Snyder.”
Iwamasa, Shinji	“Noh Steps to <i>Turtle Island</i> .”
Iwamasa, Shinji	“Gary Snyder’s Seeking for Pure Experience in ‘The Mountain Spirit.’”
Kayano, Yoshiko	“Uprooted Southern Children: A Comparative Study of Childhood and Environment in the Fiction of Peter Taylor and Willa Cather.”
Kayano, Yoshiko	“Reading Cather’s Nature Writing in <i>Death Comes for the Archbishop</i> .”
Kayano, Yoshiko	“The Last Dream of an Exile: Richard Wright’s Haiku and Southern Landscape.”
Kayano, Yoshiko	“Gaia Symphony: An Attempt to Make the Invisible Visible.”
Kayano, Yoshiko	“An Environmental Justice Project in Mississippi and Narrative History of African American Farmers.”
Kayano, Yoshiko	“‘To Carry in Our Hearts Their Affection for the Land’: Exploring ‘Another Tradition’ in the Narrative History of African American Farmers.”
Kayano, Yoshiko	“Survival of Indigenous Culture and Environmental Justice: Power of Charanke by an Ainu Writer/Activist/Educator.”

Publication Details
<b>Presentation Details</b>
Association for the Study of Literature and Environment (USA) Biennial Conference; Fort Collins, Colorado. 10 June 1995.
Association for the Study of Literature and Environment–Japan. Annual Conference, Kyoto. 9 Oct. 1995.
Association for the Study of Literature and Environment (USA and Japan joint sponsorship) Symposium on Japanese and American Environmental Literature). Honolulu, Hawaii, USA. 12–17 August 1996.
Association for the Study of Literature and Environment (USA) Biennial Conference, Missoula, Montana, USA. July 1997.
Association for the Study of Literature and Environment–Japan. Annual Conference, Tokyo. 13 October 1997.
Association for the Study of Literature and Environment–Japan Annual Conference, Hiroshima. Oct. 1998.
Association for the Study of Literature and Environment (USA) Biennial en Conference, Flagstaff, Arizona. June 2001.
International Symposium on Literature and Environment, University of Nevada, Reno, USA. 5 August 2002.
Association for the Study of Literature and Environment (USA) Biennial Conference. Boston, Mass. June 2003.
International Symposium; Association for the Study of Literature and Environment–Japan. Naha, Okinawa. 6 March 2003.
(Asian Perspectives on Environmental literature) Association for the Study of Literature and Environment (USA) Biennial Conference, Eugene, Oregon. 24 June 2005.
ASLE–Korea (The Korean Association for the Study of Literature and Environment). Invited lecture, Korea Women’s University, Seoul, Korea. (韓国女子大学、ソウル). 4 Nov. 2006.
Korean Association for the Study of Literature and Environment, Invited lecture, Seikinkan University, Seoul, Korea, (成均館大学、ソウル). 27 March 2006.
International Symposium on Literature and Environment, Plenary address. Central China Normal University, Wuhan China. 8 Nov. 2008.
International Symposium on Literature and Environment. Central China Normal University, Wuhan China. 10 Nov. 2008.
The 2nd ASLE–Korea, ASLE–Japan Joint Symposium on Literature and Environment. Sungkyunkwan University, Seoul, Korea. Nov. 1, 2010.
The Fifth International Conference on Ecological Discourse. Tamkang University, Taiwan. Dec. 17, 2010.
Amherst College, Amherst, MA, USA. March 28, 2015.
Amherst College, Amherst, MA, USA. March 29, 2015.
Boston Area Solar Energy Association. Cambridge Mass. USA. May 14, 2015.
Association for the Study of Literature and Environment (ASLE). Seminar on “Eco-criticism in Asia.” U. of Idaho, Moscow, Idaho. June 23, 2015.
U. of Idaho Dept. of English and Palouse Environmental Sustainability Coalition. U. of Idaho, Moscow, Idaho. Nov. 12, 2015.
Japan Studies Program. U. of Washington, Seattle, Washington. Dec. 4, 2015.
Kaji Aso Institute for the Arts. Boston Mass. Jan 11, 2016.
ASLE Seventh Biennial Conference. Wofford College, Spartanburg, SC. 15 June 2007.
Fifth Environmental Writers’ Conference in honor of Rachel Carson. Spruce Point Inn, Boothbay, ME. 12 June 2008.
AAS Conference. Chicago. 26 March 2009.
American Comparative Literature Association. Boulder, Colorado. April 2001. C52
Panel at The First Conference of ASLE Panel chaired by Patrick Murphy. University of Colorado. June 1994.
PLENARY Symposium at The Second Conference of ASLE with Barry Ropez, David Abrams, John O’grady. University of Montana. June 1996.
ASLE–J Okinawa. March 2003.
The Fifth Conference of ASLE. Oregon University. June 2005.
The Sixth Conference of ASLE. Wofford University. June 2007.
The Center for Asia–Pacific Exchange U. of Hawaii, Honolulu. 9 Aug. 2005.
ASLE (Association for the Study of Literature and Environment) Wafford College, Greenville. 15 June 2007.
The Center for Asia–Pacific Exchange. U. of Hawaii, Honolulu. 9 Aug. 2007.
The Thoreau Society, Masonic Temple, Concord. 12 July 2008.
The Center for Asia–Pacific Exchange. U. of Hawaii, Honolulu. 12 Aug. 2008.
ASLE Biennial Conference 2009. U. of Victoria, Victoria. 9 June 2009.
The Center for Asia–Pacific Exchange. U. of Hawaii, Honolulu. 7 Aug. 2009.
Willa Cather International Seminar. Arbor Day Farm, Nebraska City, Nebraska. June 20, 2000.
The 4th Biennial ASLE–US Conference. University of Northern Arizona. June 22, 2001.
ASLE-US Seminar. University of Mississippi. October 26, 2001.
The 5th Biennial ASLE–US Conference. University of Boston. June 4, 2003.
Globalization and Environmental Justice Movement Symposium. Radisson Downtown, Tucson, Arizona. September 25, 2004.
The 6th Biennial ASLE–US Conference. University of Oregon. June 25, 2005.
The 7th Biennial ASLE–US Conference. Wofford University, South Carolina. June 14, 2007.

Kayano, Yoshiko	“From ‘Savage Pagan’ to ‘People with Superior Strength’ : Cather’s Representation of Native Americans in <i>Archbishop</i> .”	Willa Cather International Seminar. Sorbonne University, Paris, France. June 28, 2007.
Kayano, Yoshiko	“Beyond Literary Representations: Understanding ‘the Spiritual Ecology of Place’ in the Native Southwest.”	ASA Annual Conference. Albuquerque Convention Center, New Mexico, USA. October 16, 2008.
Kayano, Yoshiko	“Stories of Tokyo Ainu: Recovering the Ainu Culture, Identity, and Community in Greater Tokyo.”	The 8th Biennial ASLE–US Conference. University of Victoria, Canada. June 5, 2009.
Kayano, Yoshiko	“Teaching Ainu Culture and History: An Experience–Based Nontraditional Course for Teacher–To–Be College Students in Tokyo”	The 9th Biennial ASLE–US Conference. Indiana University, Bloomington. June 23, 2011.
Kayano, Yoshiko	“Restoring the Power of Words and Action: Japan’s Unprecedented Anti–Nuke Grassroots Movement.”	The 10th Biennial ASLE–US Conference. University of Kansas, Lawrence. May 31, 2013.
Matsunaga, Kyoko	“The Bear in Native American Mythology and Japanese Folklore: A Comparative Study of Momaday and Kenji.”	<i>North American Interdisciplinary Conference on Environment &amp; Community</i> . University of Nevada, Reno. Feb. 2000.
Matsunaga, Kyoko	“The Global Vision of the Nuclear Landscape: Comparison of Silko’s <i>Ceremony</i> and Oda’s <i>Hiroshima</i> .”	<i>Native American Literature Symposium</i> . Mystic Lake, Minneapolis. April 2002.
Matsunaga, Kyoko	“Willa Cather and the American Southwest: Cultural and Environmental Landscape in ‘The Enchanted Bluff’ and ‘Tom Outland’s Story.’”	<i>Western Literature Association Conference</i> . Tucson, Arizona. Oct. 2002.
Matsunaga, Kyoko	“Living with the ‘Bomb’: Hayashi Kyoko.”	<i>No Limits Conference</i> . University of Nebraska, Omaha, Nebraska. Mar. 2003.
Matsunaga, Kyoko	“Reading Silences in Atomic Bomb Literature”	<i>The Women’s Studies Program Colloquium</i> . University of Nebraska, Lincoln, Nebraska. Oct. 2003.
Matsunaga, Kyoko	“Talking about WWII and Being Japanese.”	<i>Pedagogy Conference</i> . Lincoln, Nebraska. April 2004.
Matsunaga, Kyoko	“(Post)Colonial Nuclear Space: Silko, Ortiz, and Awiakta.”	<i>The College English Association Conference</i> . Indianapolis, Indiana. March–April 2005.
Matsunaga, Kyoko	“The Culture and Business of Farming: The Ecological Imagination of David Mas Masumoto and Ruth Ozeki”	<i>Western Literature Association Conference</i> . Los Angeles, California. Oct. 2005.
Matsunaga, Kyoko	“Meats, the Female Body, and Toxicity: Environmental Justice in Ruth L. Ozeki’s <i>My Year of Meats</i> .”	<i>Western Literature Association Conference</i> . Boise, Idaho. 25 Oct. 2006.
Matsunaga, Kyoko	“Toxic Discourse and Eco–activism in Ozeki’s <i>My Year of Meats</i> and Castillo’s <i>So Far From God</i> .”	<i>Seventh Biennial Conference for the Association for the Study of Literature and Environment</i> . Wofford, South Carolina. 12 June 2007.
Matsunaga, Kyoko	“Uranium, Salmon, and Survival: A Hiroshima Citizen’s View of Sherman Alexie’s Poetry.”	<i>Western Literature Association Conference</i> . Tacoma, Washington. 18 Oct. 2007.
Matsunaga, Kyoko	“Transpacific Nuclear Narrative in Gerald Vizenor’s <i>Hiroshima Bugi: Atomu 57</i> .”	<i>American Literature Association Conference</i> . San Francisco, California. 23 May 2008.
Matsunaga, Kyoko	“From <i>Heroes and Saints</i> to <i>Watsonville</i> : Environmental Activism and Religion in Cherrie Moraga’s Work.”	<i>Western Literature Association’s 43rd Annual Conference</i> . Boulder, Colorado. 3 Oct. 2008.
Matsunaga, Kyoko	“The ‘Unbroken’ History of the Black Hills: Peter Matthiessen’s <i>In the Spirit of Crazy Horse and Indian Country</i> .”	<i>Western Literature Conference</i> . Spearfish, South Dakota. 2 Oct. 2009.
Matsunaga, Kyoko	“Cross Cultural Conflict and Cultivation in Cynthia Kadohata’s <i>Weedflower</i> .”	Western Literature Association Conference. Prescott, Arizona. Oct. 2010.
Matsunaga, Kyoko	“(Post)Colonial/Imperial Bodies and Atomic Bomb Narratives.”	Ninth Biennial Conference for the Association for the Study of Literature and Environment. Indiana University, Bloomington, Indiana. 25 June. 2011.
Matsunaga, Kyoko	“At the Bottom of the Mine: (Post)Colonial/Imperial Nuclear Narrative in Simon J. Ortiz’s <i>Fight Back</i> and Han Soosan’s <i>Kkamagui</i> .”	47th Annual Conference of the Western Literature Association. Lubbock, Texas. 8 Nov. 2012.
Matsunaga, Kyoko	“Re–Considering Thea’s Ecological Epiphany in Willa Cather’s <i>The Song of the Lark</i> .”	The 14th Willa Cather International Seminar. Flagstaff, Arizona. 17 June. 2013.
Matsunaga, Kyoko	“Before and After the Quake: Ruth L. Ozeki’s Global Narrative in the Nuclear Age.”	Asian American Literature Association in Japan. 25th Anniversary International Forum. Kyoto University of Foreign Studies. 28 Sept. 2014.
Matsunaga, Kyoko	“From Tohoku to Desolation Sound: Ruth L. Ozeki’s Transpacific Eco–Narrative.”	Western Literature Association Conference. Victoria, British Columbia. 7 Nov. 2014.
Matsunaga, Kyoko	“The Legacy of Radioactive ‘Trauma’ in Film: Uchida’s <i>Odayaka na nichijo</i> and Kurosawa’s <i>Ikimono no kiroku</i> .”	International Symposium on Literature and Environment in East Asia. Meio University, Okinawa. 22 Nov. 2014.
Miura, Shoko	“Rachel Carson’s “Material Immortality” and Melville’s <i>Moby–Dick</i> .”	NEW–CUE Nature and Environmental Writers – College and University Educators Conference and Workshop in Honor of Rachel Carson. Boothbay Harbor, Maine. June 2004.
Miura, Shoko	“Melville’s <i>Moby–Dick</i> as an Ecodystopian Novel.”	ASLE–U.S. University of Oregon Eugene Campus. June 2005.
Morita, Keitaro	Reading Seungho Choi: An Attempt to Bridge <Outer Nature> and <Inner Nature>.	In A. Bruce (Moderator), Reading Workshop. Reading Workshop at ASLE Japan–Korea Joint Symposium, Kanazawa, Japan. Aug. 2007.
Morita, Keitaro	“Hiromi Ito As a Border Jumper Between the Natural Environment and Sexuality.”	In M. Yuki & Q. Zhang (Chairs), Ecocritical Studies of World Classics–Other Literatures. Panel at International Conference on Literature and the Environment at Foreign Literature Studies of Central China Normal University, Wuhan, China. Nov. 2008.
Morita, Keitaro	“Ecological Identity, Ecological Reflection, and Ecological Reflexivity.”	In N. Selvamony (Chair), Youth Eco–Forum. Parallel Session at Ecological Literature and Environmental Education: Asian Forum for Cross–Cultural Dialogues at Peking University, Beijing, China. Aug. 2009.
Morita, Keitaro.	“Ecological Reflection Begets Ecological Identity Begets Ecological Reflexivity?”	In P. Kent & A. Koido (Chairs), English Workshop. Workshop at the 82th Conference of the Japan Sociological Society at Rikkyo University, Tokyo, Japan. October 2009.
Morita, Keitaro.	“A queer ecopoet?: An analysis of ‘Chitô [Tito]’ by Japanese Poet Hiromi Ito.”	In D. Brink (Chair), “Ecocriticism in Asia: Reorienting Modernity, Reclaiming Nature?” Session V at The Fifth Tamkang International Conference on Ecological Discourse at Tamkang University, Taipei, Taiwan. December 2010.
Morita, Keitaro.	“Going back to nature or melting into technology?: A reading of “Seibutsu–Toshi (The City of Creatures)” by Morohoshi Daijiro.”	In Keitaro Morita (Moderator), <i>Unsettling Nature/Culture/Urban</i> . Session 1B at 2014 International Symposium on Literature and Environment in East Asia at Meio University, Okinawa, Japan. November 2014.
Morita, Keitaro.	“Post–Fukushima Japanese environmental literature: Radiation, nuclear utopia, and sightseeing.”	In H. Wake, M. Yuki, & K. Suga, Ecocriticism in Japan: Season 2. Seminar at Annual Meeting of the American Comparative Literature Association (acla2016) at Harvard University, Cambridge, MA. March 2016.
Morita, Keitaro.	“Going back to nature or melting into technology in a city?: A reading of “Seibutsu–Toshi (The City of Creatures)” by Morohoshi Daijiro.”	In T. Huang (Moderator), <i>Panel B</i> . Energy, Ecology & The Culture of Cities: International Symposium, Taichung, Taiwan, 23 Nov. 2018.
Takahashi, Tatsuo	“The Influence of Japonism on Japanese Modern Literature - From the Viewpoint of Eco–Criticism.”	East Asian Culture in Western Perceptions from the 18th to the 21st century. University of Latvia, Riga. 23 Oct. 2008.
Yuki, Masami Raker	“‘Beyond’ a Toxic Discourse: A Form of Resistance in Minamata Literature.”	ASLE Biennial Conference. University of Victoria, Victoria, 5 June 2009.
Yuki, Masami.	“To Eat or Not to Eat: A Comparative Analysis of Discourses on Food and Toxicity.”	ACL(X)/E(x)amine. Pennsylvania State University. 28 September 2013.
Yuki, Masami.	“Ecocriticism and Literature after Fukushima.”	Symposium <i>Reframing 3.11: Cinema, Literature, and Media after Fukushima</i> . University of California, Berkeley. 5 April 2014.

## 7. Lectures/Speeches

Lecturers/Speakers	Titles
Kayano, Yoshiko	“The Ainu, Pueblo People, and the Global Indigenous Movement.”
Kayano, Yoshiko	“Not a Dissolution, but a Rejuvenation: Restoring the Ainu Culture, Identity, and Community in Greater Tokyo.”
Matsunaga, Kyoko Matsunaga, Kyoko Matsunaga, Kyoko Matsunaga, Kyoko	“Why I Can’t Call My Grandmother.” “After Apocalypse: Nuclear Writings in Native America and Japan.” “Korean Hibakusha Narratives: From Ishimure To Han Soosan.” “Native American Literature and the Nuclear Landscape”
Yuki, Masami Raker	“Contemporary Literary Environmentalism in East Asia.”
Yuki, Masami.	“Minamata, Chernobyl, and Fukushima: Literary Resistance to a Discourse of Toxic Food.”
Yuki, Masami.	“Language and Imagination Before and After Fukushima: The Concept of Zone as a New Theoretical Framework in Taguchi Randy’s Works.”
Yuki, Masami.	“Post-Fukushima Literary Discourses on Food and Eating.”
Yuki, Masami. Yuki, Masami.	“Environmental Discourses in Post-Fukushima Foodscapes.” “ Food Risks and Post-Minamata Literary Tradition in Japan.”
Yuki, Masami.	“Meals in Catastrophe: Emerging Tropes in Foodscapes of the Nuclear Age.”
Yuki, Masami. Yuki, Masami. Yuki, Masami.	“ <i>Satoyama</i> : Dystopia and Utopia in a Nuclear Landscape. ” “Dystopia and Utopia in a Nuclear Landscape: Emerging Aesthetics in Satoyama. ” “Meals in the Age of Toxic Environments.”

## 8. Activities Related to the Environment

Names	Contents
Allen, Bruce and Makoto Shishido Allen, Bruce and Makoto Shishido Iwamasa, Shinji, Bruce Allen, et. al.	<i>Making Connections: Health, Welfare, and Environment</i> . <i>Imagining Tomorrow: The Future of Science, Society, and Nature.</i> <i>Different Perspectives: Understanding Current World Issues.</i>

## (2)Others

Names	Titles
Morita, Keitaro	<i>Unsettling Nature/Culture/Urban</i> . Moderator.
Morita, Keitaro	(Post)Graduate Colloquium: Reading <i>God Bless You, 2011</i> by Hiromi Kawakami. Moderator.

## Details

University of Central Arkansas, Honor’s Collegeの招待とフルブライト委員会のゲスト・スピーカー助成金による講演 2007年4月6日。  
Portland State University Center for Japanese Studies Lecture Series. Portland State University, Portland. February 8, 2011.

Invited poetry reading. Hiroshima Lantern Float Program. Nebraskans for Peace, Lincoln, NE. 5 Aug. 2007.  
Invited Lecturer. Wilmington College, Wilmington, Ohio. 4 Mar. 2007.  
Hiroshima and Peace Program. Hiroshima City University, Hiroshima. 7 Aug. 2013/ 7 Aug. 2014.  
Hiroshima and Peace Program. Hiroshima City University, Hiroshima. 26 Oct. 2012.

(Shin Dooho (韓国・国立江原大学校)とBruce Allen (順天堂大学)との合同基調講演) 環境文学国際大会、華中師範大学、2008年11月8日。  
JSPS Symposia 2012 “Risky engagement: encounters between science, art and public health.” University of Manchester, UK. 6 January 2012.  
International Symposium *Comparing Fukushima and Chernobyl: Social and Cultural Dimensions of the Two Nuclear Catastrophes*. Goethe University Frankfurt, Germany. 8 March 2012.  
Keynote speech, East-Asia Symposium on Literature and Environment (National Taiwan University, ROC). 7 December 2012.  
Yukon College, Canada. 20 February 2013.  
CJRC Lecture Series. University of Southern California, USA. 7 March 2013.  
Seminar Series in History of Science and Ideas and Umeå Studies in Science, Technology, and Environment. Umeå University, Sweden. 14 October 2014.  
ECO HUM Seminar. Mid Sweden University, Sweden. 16 December 2014.  
The Signs and Society Workshop. University of California, San Diego, USA. 17 February 2015.  
Sawyer Seminar on the Environmental Humanities. University of California, Los Angeles, USA. 24 February 2015.

## Details

## Publication Details

Tokyo: Seibido Publishing Company, 2005.  
Tokyo: Seibido Publishing Co., 2006.

Tokyo: Kinseido, 2014.

## Details

Session 1B at 2014 International Symposium on Literature and Environment in East Asia at Meio University, Okinawa, Japan. November 2014.

Session at 2014 International Symposium on Literature and Environment in East Asia at Meio University, Okinawa, Japan. November 2014.